TELEKTONON

THE GAME OF PROPHECY

A GALACTIC FEDERATION CULTURAL PROGRAM



海賊版

テレクトノン

預言のゲーム

銀河連盟の文化プログラム

インストラクション・マニュアル

テレクトノン

預言のゲーム

パカル・ヴォタンとボロン・イクに代わって提示される
ホゼ&ロイディーン・アグエイアス著

José and Lloydine Argüelles
Copyright©1995



All rights reserved
including the right of reproduction
in whole or in part in any form

Produced in China by Interlink Productions Limited

Designed by José and Uoydine Argüelles
Randy Bruner, Raphil Lee Lee

テレクトノン

預言のゲーム

ゲーム構成部品の一覧

- テレクトノン･インストラクション･マニュアル（本書）（海賊版はＡ４）

- テレクトノン･プレイングボード（海賊版はＡ４）

- パカル･ヴォタンの石棺の箱（海賊版は付録にて自作）

- 石棺の中に含まれるもの：
  1）５２枚のプレイングカード（海賊版は付録にて自作）
  2）テキスト１冊、「パカル・ヴォタンのテレクトノン、預言を語る石」（海賊版はＡ４）

- 袋に入った１３個のコマ
  - 時間の目盛り石、黒２つ、白２つ（海賊版には入っていません）
  - 白いボロン･イクの亀、1つ（海賊版は付録にて自作）
  - 黄色いパカル･ヴオタンの亀、1つ（海賊版は付録にて自作）
  - 緑の戦士の亀、1つ（海賊版は付録にて自作）
  - お告げのピラミッド、５つ（緑1つ、赤1つ、白1つ、青1つ、黄色1つ）（海賊版は付録にて自作）
  - 再チャージ･バッテリーの水晶、1つ（海賊版には入っていません）

- 壁貼り用ポスター、「テレクトノン、１３の月･２８日の普遍的なテレパシー」（海賊版はＡ４）

テレクトノン――インストラクション･マニュアル
テレパシーのテクノロジー

目　次

Page

Ⅰ イントロダクション:テレクトノンとは何か？

1 テレクトノン：光の剣 ―― 1
2 テレクトノン：時間とテレパシー ―― 1
3 テレクトノン：戦士の迷宮の旅と法則の立方体 ―― 2
4 テレクトノン：動いている時間の交差 ―― 4
5 テレクトノンとドリームスペル ―― 4
6 テレクトノン：聖なる時間の啓示 ―― 5
7 テレクトノン：場、流れ、回路 ―― 7
8 テレクトノン：地球霊の通話管 ―― 9

Ⅱ テレクトノンの中に入って遊ぶ方法

1 テレクトノンの中に入る ―― 11
2 恋人たちの台本､パカル･ヴォタンとボロン･イクの冒険 ―― 12
3 テレクトノン・プレイングボード ―― 13

テレパシー的なシンクロノメトリーの実践 ―― 13
第１レベル：３つの亀を動かす ―― 15
第２レベル：日々の動きの目盛りを定める ―― 17
第３レベル：恋人たちの台本のカードゲーム ―― 19
第４レベル：ドリームスペルの第５の力のお告げ遊び ―― 19
シンクロノメトリー：テレパシー的な力線の実践 ―― 22
テレパシー的な力線のインデックス ―― 23

4 パカル・ヴォタンの石棺 ―― 25

１３のはっきりとしたしるし ―― 25
１３のはっきりとしたしるしのインデックス ―― 25

5 テレクトノン：恋人たちの台本のカードゲーム ——— 27

テレクトノン：普遍的なデイリー・クロノメーター ——— 28

５２枚のプレイングカード：パカル・ヴォタンの４つの知恵の書 ——— 30
１）「失われた７つの世代の書」（７枚のカード）
２）「銀何時間の書」（１３枚のカード）
３）「宇宙の形の書」（４枚のカード）
４）「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」（２８枚のカード）

カードの毎日の配列 ——— 31

特別なインストラクションのインデックス：

普遍的なデイリー・クロノメーターのカード配列 ——— 33
ルートの位置
ハートの位置
クラウンの位置
塔の位置
銀河の翼、毎日の位置
太陽の翼、毎週の位置
太陽の翼、毎日の位置

6 ７つの世代のお告げと預言の７年 ——— 38

年ごとの７つの年、７つの輪、７つの世代のお告げ ——— 41
預言の７つの封印 ——— 42
心のヘプタゴノンを再構築する ——— 42

7 テレクトノン：預言を語る石 ——— 43

8 用語解説 ——— 45

巻末資料

１８のウィナルと５日のワイエブ ——— 48
テレクトノンを裏付けるボーデの法則 ——— 50
１３の月の万年暦 ——— 51
銀河の表記法、ドット・バー（点・棒）０－１９コード ——— 52
２０の太陽の紋章、名前とコード番号 ——— 53

謝辞 ——— 54
日本語版「テレクトノン」の製作にあたって ——— 56

I イントロダクション：テレクトノンとは何か？

1 テレクトノン：光の剣

テレクトノンは光の剣であり、１３の月・２８日の暦を日ごとに開示することで明らかにされる、テレパシー･テクノロジーである。ゲームの形をしたテレクトノンは、プレイングボードと、１３の動くコマ、付属の５２枚のプレイングカードを伴う。

テレクトノン、「地球霊の通話管（アース・スピリット・スピーキング・チューブ）」は、１９５２年、メキシコのチアパス州パレンケにある「碑銘の神殿」の中の、パカル･ヴォタンの石棺の発見へとつながった託宣管の名前である。

テレクトノンの目的は、偽りの時間の力を克服し、真の時間の力を回復することにある。テレパシーは、真の時間の機能であるため、テレクトノンを遊ぶことは、テレパシー･テクノロジーを再発見することである。現在、すべての人類は偽りの時間の呪いを生き、またそれに従っているので、１３の月のテレクトノンとテレパシーへの回帰は、すべての人類にとっての普遍的な解決策となる。

時間は周波数である。真の時間の周波数は、１３：２０、１３の月、２０の手と足の指である。偽りの時間の周波数は、１２：６０、１２か月の暦と６０分１時間である。

2 テレクトノン：時間とテレパシー

テレクトノン、パカル･ヴォタンの預言が生きた預言であるように、テレクトノン、預言のゲームもまた生きたテレパシーの道である。テレパシーは、私たちがシンクロニシティ（共時性）を導く方法である。

偽りの１２：６０の時間は、あらゆる人々に人工的な機械の時間に応じた生活をさせることで、テレパシーを否定し、否認する。真の１３：２０の時間は、地球、太陽系、そして銀河の自然な周期に応じた生活ができるように人々を自由にすることで、テレパシーを肯定し、促進する。

テレクトノンを遊ぶことで、あなたは：

1）偽りの時間の中に何世紀、何千年紀ものあいだ生きてきたことによって失われた、時間と知識の回復を手伝う。
2）本当の時間の同期とテレパシーの力を開発する。
3）テレパシーの障害となっている偽りの時間を克服するための本当の時間の戦略を発見し、適用する。

プレイングボードと５２枚のカードひと組みは、テレパシーを伴った時間にあなたを戻すというゴールを達成するために毎日使われる道具である。

５２枚のプレイングカードは、４つの「知恵の書」によって構成されている。それは、次の３つの事柄に関する完全な情報を提供する。

１）預言の７年、１９９３－２０００年、そして７つの世代のお告げ、偽りの時間を克服するための年ごとのコード。

２）１３の月の２８日周期は、歴史の１３バクトゥン周期、預言の７年、「黙示録」、その他に関連づけられる完全な情報をもたらす。

３）テレパシーをあなたにとっての日々の現実とする、四次元の時間の交差に関するすべての情報をもたらす、１３の月・銀河の音と、４つの宇宙の形のカード。

毎日のカード配列は、クロノメトリクスという四次元科学の時間の尺度の中で、あなたを教え導く。カード配列は、テレクトノンのプレイングボードの日々の行為を補う。テレパシーが惑星間の知の秩序であることを示すプレイングボード上のテンプレートによって、あなたは日々の時間の交差すべての地図を描き出す。

プレイングボードの日々の地図は、シンクロノメトリクスという四次元科学のシンクロニシティ（共時性）の尺度の中であなたを教え導く。シンクロニシティとは、私たちがテレパシーを体験する方法である。

１２：６０が「偽り」であるのは、それが心（マインド）を制限し、結果として私たちのライフスタイルを三次元に閉じ込めるからである。１３：２０の時間が「真実」なのは、それが心を自由にし、結果として私たちのライフスタイルを四次元へと解き放つからである。三次元は物理的であり五感で知ることができるのに対し、四次元はテレパシー的であり心で知ることができる。

テレクトノンの遊びを通して、私たちの三次元の現実は、四次元のテレパシー的な知識で再組織化される。

3 テレクトノン:戦士の迷宮の旅と法則の立方体

テレクトノンによれば、現在の惑星規模の危機は、実際には次元間的・惑星間的な時間戦争、天の戦争のクライマックスである。この天の戦争は、バベルの塔として歴史のはじまりに課せられた偽りの時間に由来する。

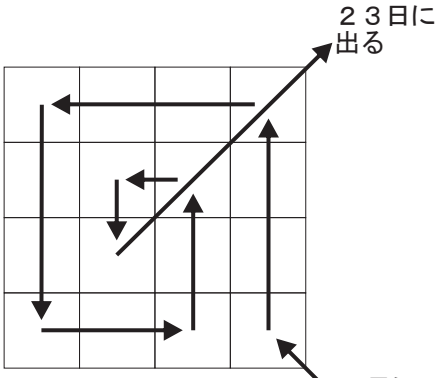
失われた時間と力の回復を示すテレクトノン、時間の預言は、毎月の28日間の中で7日から22日のあいだにテレパシー的に達成される。７日から22日のあいだに対応する16枚のカードは、バベルの塔の克服、歴史のカルマの浄化、そして起源の立方体の法則としての真の時間の回復を物語る。

プレイングボードは、バベルの塔によって覆われている忘れられた立方体の法則としての、戦士の知性の１６の位置を図示している。立方体の法則をテレパシー的に回復する１６日間は、戦士の迷宮の旅として知られている。戦士の１６日間の旅は、テレクトノン、預言のゲームの核心である。テレクトノンを遊ぶすべての人の集合的な心、意志、霊（スピリット）が同時に同期し、共通のテレパシー的な力に向かって激しさを増すのはこの16日間である。

法則の立方体は、預言の最初の５年間の気高い勝利の行進として読むこともできる。気高い勝利の行進の最初の４年間のそれぞれ４つの区域は、戦士の立方体の１６の位置を構成している。

テレクトノン:法則の立方体

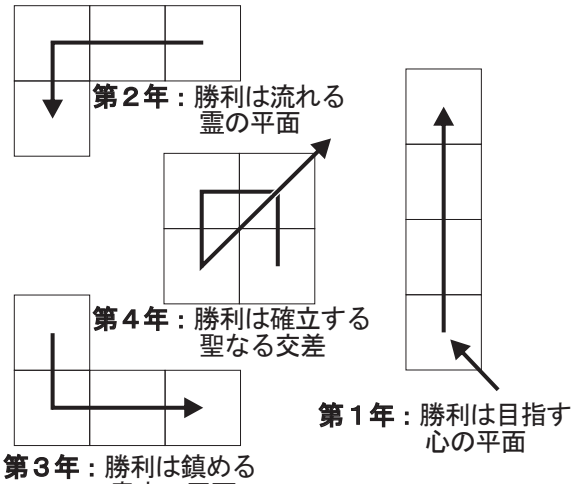
１６日間の戦士の迷宮の旅
５年間の勝利の行進
法則の立方体、神秘の尺度



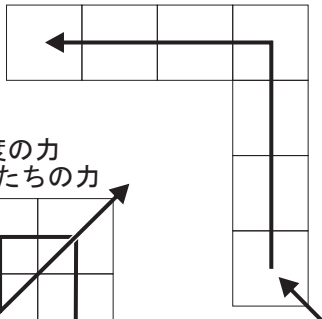
７日から２２日のあいだ、
あなたは１６日間、
日覚めた知性と預言のテレパシー的な
力を手に入れる。

バベルの塔を溶解し、法則の立方体を
構築する５年間の勝利の行進

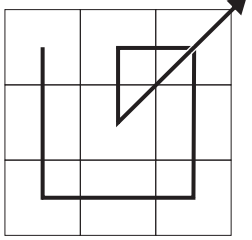
気高い勝利の行進では、
立方体の１単位は、４分の１年にあたる。



最初の７日間は、
バクトゥン７～１３をあがなう

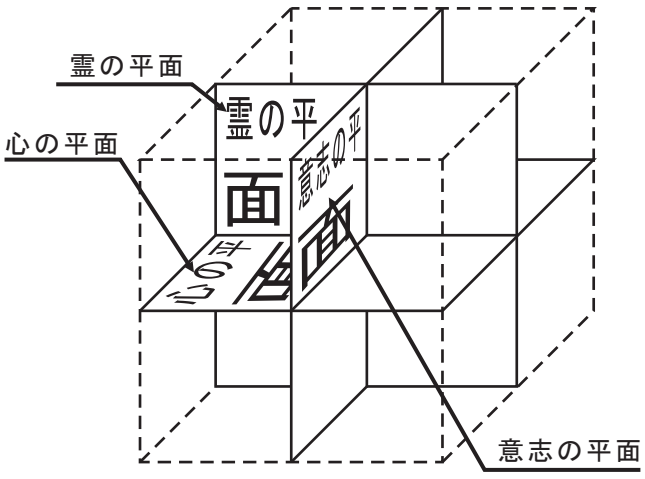


７は神秘の尺度の力
――９は時間の主たちの力



法則の立方体の
神秘の力
7＋9＝16、16×9＝144

１４日から２２日までは
ボロン･イクの９つの
織物の糸を拾い上げる



気高い勝利の行進ー第５年ー勝利は解き放つ
法則の立方体が実現し、テレパシーが普遍的な規範になる

預言の第５年の勝利は、立方体をその二次元的マトリクスから完全にホログラフィー的な三次元の形へと爆発させる。これは、人類の意識が偽りの１２：６０の時間の奴隷になっている状態から、真の１３：２０の時間へと解放されていく、その変容をアナロジーで示す。

4 テレクトノン:動いている時間の交差

進行中のテレパシー的な交差を創り出す、２つの真の時間の周期がある:

１）三次元の３６５日周期、バイオテレパシー的な時間と、

２）四次元の２６０日周期、惑星間の時間。

１３の月・２８日の暦は、バイオテレパシー的な時間の３６５日周期の尺度である。この規則的な２８日の尺度が、１２か月のグレゴリオ暦という偽りの時間によって覆われていた。

２６０日周期は、１３日周期の中で動いている２０の太陽周波数に応じた時間と関連づけられる、純粋に四次元的な尺度である。この２６０日周期は、３６５日周期と正確に５２年ごとに同期する。この２つの周期が動いている時間の交差を割り出す。

カード配列では、垂直の軸が３６５目周期に対応し、水平の軸が３６５日周期をコード化する２６０日周期に対応する。

プレイングボードでは、＜２８日の管＞と＜戦士の迷宮＞は、３６５日周期の動きをたどる。２つの垂直の流れは、２６０日周期の動きを示すのに使われる。

これらの２つの周期は、毎日、プレイングボードの左側にある２匹の亀の甲羅で目盛りが定められる。

5 テレクトノンとドリームスペル

テレクトノン、預言のゲームは、ドリームスペル、時間船地球２０１３の旅の特別な応用である。ドリームスペルは、四次元の時間の放射状母体コードを完全に表示したものである。これらのコードは、中央アメリカの古代マヤ人たちに知られており、それらの本質は、２６０単位のツォルキンないしは聖なる暦に具体的に表現されていた。マヤは、真の四次元の時間の本質を完全に知っていた歴史上唯一の文明化された人々だった。

パカル･ヴォタン(AD603～683年)の努力とその成し遂げたことにより、また彼が創始した預言の伝統を通して、時間の知識はいまも失われてはいない。テレクトノンは、今日の人類のために時間の法則を完全に示した四次元的なドリームスペルのコードにその根を持っている。

テレクトノン、パカル･ヴォタンの預言は、偽りのグレゴリオ暦の時間を捨てて、真の１３の月の時間を採用することによってのみ、人類は惑星地球の生物圏の破壊を防ぐことができると主張する。

テレクトノンのゲームは、人類がみずからを救うのを支援する。この預言のゲームをプレイすることで、必然的にドリームスペルの探求とさらなる応用へと導かれることになる。

ドリームスペルの１３：２０のコードでは、１３は１３の銀河の音を、２０は２０の太陽周波数、２０の時間の部族、２０の手と足の指をそれぞれ示す。テレクトノンでは、１３の銀河の音は１３の月をコード化する。２０の太陽周波数は、２つの流れ、銀河のカルマ（０～９）、太陽の預言（１０～１９）、さらには立方体（１～１６）、再チャージ･バッテリー（０～１９）をコード化する。

注：テレクトノンのプレイングボードでは、２８日周期の１～２８までのアラビア数字を除けば、すべての数字は、０～１９のドット・バー（点・棒）による銀河の表記法で示されている。（巻末資料：「銀河の表記法」を参照）

6 テレクトノン：聖なる時間の啓示

テレクトノン、パカル･ヴォタンの預言は、聖なる啓示であり、２６０００年の大周期が閉じられる２０１２年の前に受け取られ、伝えられた。この啓示が受け取られはじめたのは、１９９３年７月２６日、キン１４４、＜黄色い磁気の種＞、預言の第１年だった。

テレクトノン、地球霊の通話管、至高の時間の法則の知識は、法則の立方体の啓示である。時間は、山々を塵にする力を持っている。時間の第四次元は、空間の３つの次元よりも大きく、またそれを含むものである。

立方体の法則は、時間の宇宙論である。法則の立方体は自己存在的でそれみずからの交差から生じる。この聖なる交差は、３つの同時的な平面によって構成されている。（法則の立方体の図：ホログラフィー的な第５年の勝利の立方体、を参照）

１）すべての基礎となる**心の平面**（マインド）。心は、すべてのものを発生させ、動かし、溶かす時間の根（ルート）である。

２）**霊の平面**（スピリット）。霊はテレパシーの根（ルート）である。テレパシーは、数字としての、ある瞬間に存在する心の秩序である。

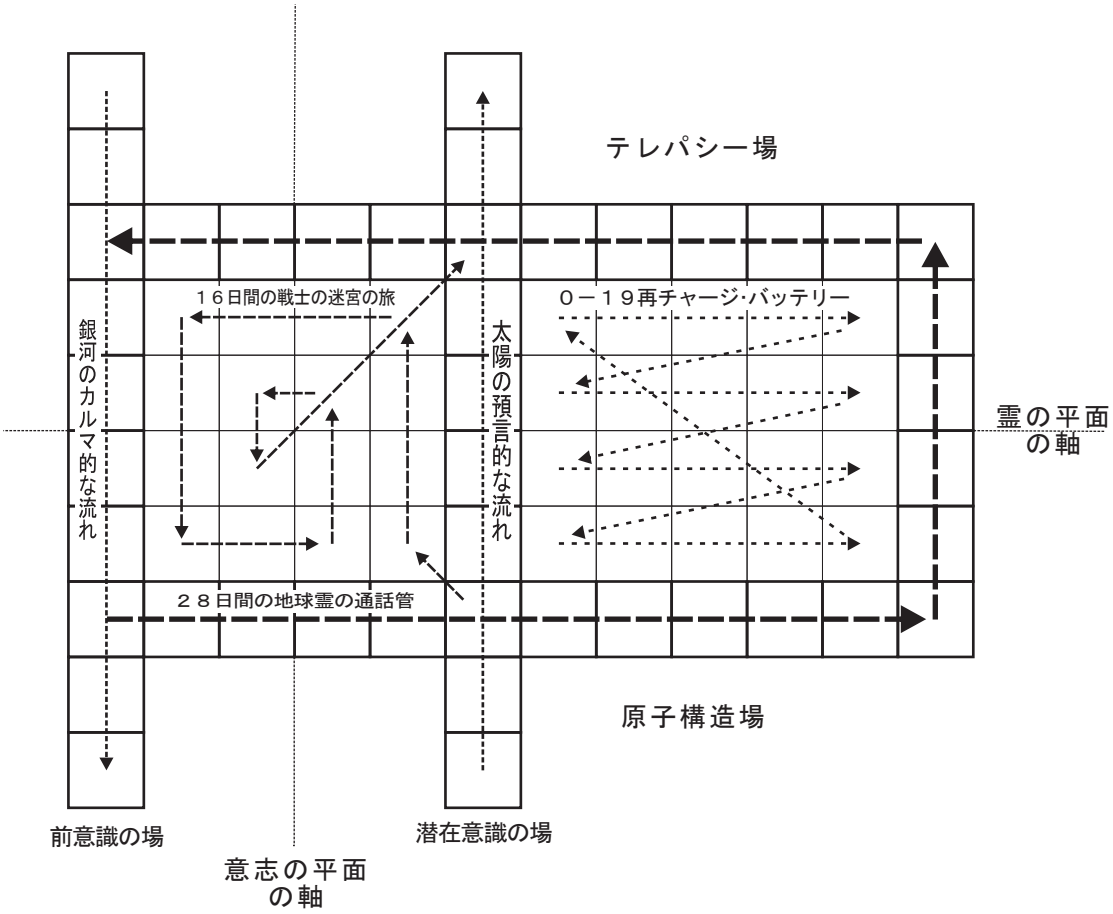
３）**意志の平面**。意志は秩序を共振させる（分子や細胞といった）原子構造の根（ルート）である。

聖なる交差、心、霊、意志の３つの平面が法則の立方体の内的な秩序を創り出す。立方体の法則は、その預言的な形態で、心のヘプタゴノンとしても知られている。ヘプタゴノンとは、７の幾何学的な力を指し、立方体の６つの面とその７番目の内的な点、聖なる交差のことである。心のヘプタゴノンにコード化されているのは、預言の７年の７つの封印である。

テレクトノン、至高の法則、聖なる時間の啓示は、不完全な三次元の理解に基づく既存のすべての法を乗り越える。テレクトノンは、偽りの時間の不協和音を、宇宙全体を司るテレパシーの普遍的な秩序にとって代える。

テレクトノン　プレイングボード

２８日間の管、１６日間の立方体、２つの垂直の流れ、
そして再チャージ･バッテリーの動きを示す。



7 テレクトノン：場、流れ、回路

テレクトノン・プレイングボードは、テレパシーの宇宙論の視点から理解される私たちの太陽系の地図である。この地図は、プレイングボードを、場、流れ、回路に分けている。

心、霊、意志の聖なる交差は、広大なテレパシー場を創り出す。この交差は限りなく、すべてのものの中に同時に存在する。第１のテレパシー場に対して反応するのは、第２の原子構造場である。

テレパシーは、原子構造を沈澱させる。原子構造はテレパシー的に共振する。テレパシーと原子構造は、２つの普遍的な場である。

心の平面は、テレクトノンのプレイングボードによってその全体が示されている。３つの平面の聖なる交差は、戦士の立方体にその正確な中心がある。霊の平面は、上側のテレパシー場と下側の原子構造場を分ける水平の軸である。意志の平面は、左側の前意識の平面と、右側の潜在意識の平面を分ける垂直の軸である。

意識は太陽・銀河的な現象である。時間によって動かされ、特定の力を維持するそれぞれの相互関係における惑星軌道は、テレパシー的に活性化される意識の交差を確立し、私たち自身の中で調整がはかられる。

テレパシーと原子構造の交差、そして意識の2つの原初の平面は、4つの下位場を創り出す：

１）前意識･テレパシー的－記憶が、内に向かう（involve:巻き込む）／左上
２）前意識･原子的－肉体が、内に現れる（incarnate)/左下
３）潜在意識･原子的－本能が、外に向かう（evolve:進化する）／右下
４）潜在意識･テレパシー的－夢が、外に現れる（excarnate)/右上

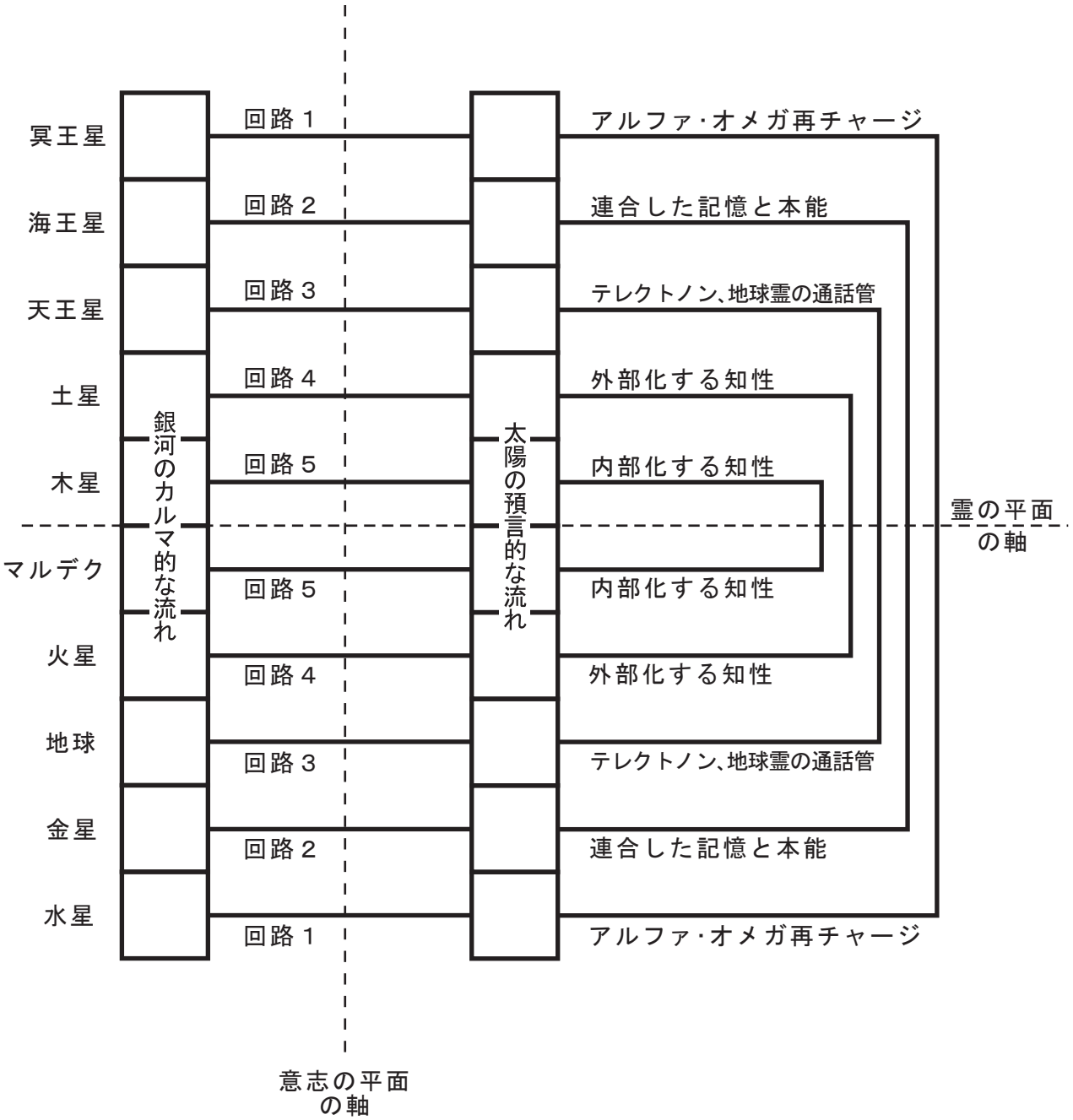
これらの４つの場の相互作用は、広大な統一された意識場が調整されるにしたがって、私たちの太陽系を含む銀河を創り出す。
これらの調整の相互作用が、２つの動きを創り出す：内に向かう銀河のカルマ、外に向かう太陽の預言である。プレイングボードでは、これらの２つの動きは、四次元の時間の２つの垂直の流れで示されている（銀河のカルマ０～９と、太陽の預言１０～１９）。

私たちの太陽系では、この２つの流れのそれぞれ互いの関係は、１０の惑星軌道によって維持されている。開くほうの１０の生成する銀河のカルマ的な力と、完了するほうの１０の夢見る太陽の預言的な力がある。これらの２０の力は、四次元の時間の２６０日周期の中にある２０の太陽周波数を表わす。

この２０の力は、１０の惑星軌道に応じて対称的な組をつくっている。またそれぞれ組になった１０の惑星軌道は、あなたのプレイングボードのテレクトノンの５つの回路、１４０単位のマスターグリッドを創り出す。

テレクトノン

１０の惑星軌道と
５つのテレパシー回路



プレイングボードで、この５つの回路は次のように呼ばれる：アルファ・オメガ再チャージ回路（冥王星と水星）、連合した記憶と本能の回路（海王星と金星）、テレクトノンの28日の回路（天王星と地球）、外部化する知性の回路（土星と火星）、そして内部化する知性の回路（木星とマルデク）。

8 テレクトノン：地球霊の通話管アース・スピリット・スピーキング・チューブ

テレクトノン、地球霊の通話管は、第８軌道と第３軌道（天王星と地球）をつなぐ第３番目の回路に与えられた名前である。

テレクトノンの回路は、２８日の調整単位ないしは日にちで構成されており、それは１４０という５つの回路すべてのテレクトノンのテレパシー的な調整単位の、正確に５分の１にあたる。

テレクトノンの回路の第３と第８の軌道は、完全第５度を創り出す。５つの軌道分だけ離れている、この２つのテレクトノンの軌道のそれぞれは、その両側にさらに２つの軌道を持っている。第３惑星軌道、地球は、原子構造の共振場の中心を維持している。第８惑星軌道、天王星は、原初のテレパシー場の中心を維持している。

第３と第８軌道が共になって、原子場とテレパシー場の双方の中心を維持し、それが普遍的な超越－－－地上の天国の力、太陽銀河意識の開花－－－を獲得するテレクトノンの回路を構成している。

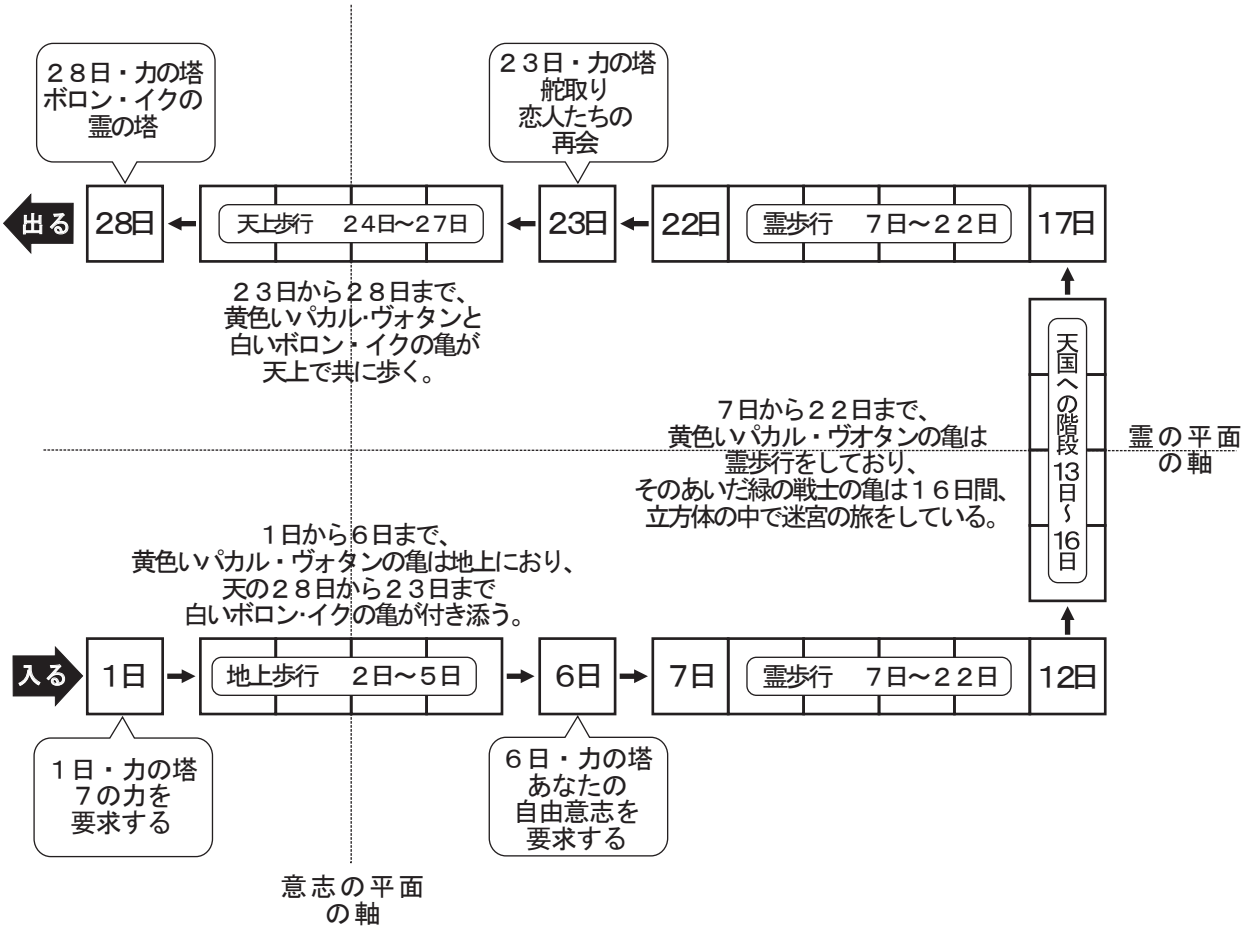
第３軌道惑星、地球の生物圏は、２８日周期が意識的に人類に受け入れられるようになるにつれて、テレクトノンの回路の２８日の調整単位を登録するように意図されている。人類の集合的な計時周波数として、この28日周期は、人々の中に普遍的なテレパシーをもたらす知的な道具である。２８日周期が意識的かつ集合的に受け入れられなければ、人類はその集合的な意志と精神をたじろがせてしまうだろう。人類は、生物圏から精神圏への移行をもたらすというより、生物圏の大異変の中でその進化周期を終えてしまうかもしれない。

これまで知られていなかった至高の時間の法則の預言的な開示として、いまこの時期に提示されるテレクトノン、２８日・１３の月は、銀河知性の緊急計画である。そのコード化された放射状数学の完成により、テレクトノンのマスターグリッドは、これまでに人類によって「発見された」どんなものよりも純粋に完璧であり科学的なものとなっている。

２８日間のテレクトノンの道、地球霊の通話管を歩くことで、あなたはテレパシー的に地球と天王星を結びつけており、それが地上（地球）の天国（天王星）を創り出す！だが天王星にたどり着くには、まず最初に、人類の歴史すべてを歩く機会を得なければならない。このすべては、28日間の地球霊の通話管の一部である。

「テレクトノン、２８日間の地球霊の通話管」の図表を学ぼう。

テレクトノン　２８日間の地球霊の通話管



１日～１３日：バクトゥン１～１３
BC3113～AD1993
（13バクトゥンより1カトゥン少ない）
１４日～２０日：預言の７年
２１日～２２日：地上の天国の１３年間
２３日～２８日：天の時間の宇宙論

１日～２２日：黙示録の２２章
１日～１２日：地上（地球）
１３日～１６日：天国への階段
１７日～２８日：天国（天上、天王星）

Ⅱ テレクトノンの中に入って遊ぶ方法

1 テレクトノンの中に入る

テレクトノンは時間のゲームである。テレクトノンの中に入るには、あなたのグレゴリオ暦の参入の日付を１３の月の万年暦に関連づける。たとえば、７月２６日は常に磁気の月の１日、１１月１５日は常に倍音の月の１日、など。あなたが入り込む日が必ずしも特定の月の１日である必要はないことを覚えておこう。あなたはすでに２８日間の管のかなり進んだところにいるかもしれない。要点は、**『そこに飛び込んでみて、あなたが時間の中のどこにいようとそこからはじめる！』**ということだ。

あなたは、次の４つの進行レベルのどこからでも、テレクトノンに入り、遊びはじめることができる。

第１レベル

３つの亀を毎日動かし、「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」の２８日間のカードを読む。

第２レベル

ドリームスペルの日のキンと再チャージ・バッテリーの双方で、毎日の動きの目盛りを定める。

第３レベル

上のすべてを行なうと同時に、毎日の完全なカード配列を創り出す。

第４レベル

さらにドリームスペルの第５の力のお告げ遊びと７つの世代のお告げを読むことをつけ加える。

あなたの遊びは、集団でこれを行なうことによってより高められると同時に、あなた自身のスピードでも先に進むことができる。テレクトノンの預言のゲームの中には、あなたがそれを遊ぶことによってのみ明らかにされる秘密がある。

覚えておこう：テレクトノンはほんとうの時間のゴールと結果を持った、生きた預言である。

2 恋人たちの台本、パカル・ヴォタンとボロン・イクの冒険

テレクトノンの知恵は深い。テレクトノンがいまの私たちの時代に公開されるタイミングは、はかり知れない共感、人類に対する愛の行為であり、同時に真に奇跡的でとても深遠な真実を表わしている。この預言とこのテレパシー・ゲームの計画は、いったいどのようにしてもたらされたのだろうか？

名高いパレンケには、パカル・ヴォタンがＡＤ６８３年の彼の死の前に命じた墓と神殿が、それと同じくらい独自な宮殿と風の塔からすぐのところにある。もし私たちが石の声に耳を傾けたなら、どんな秘密をその石たちは明かしてくれるのだろうか？その石たちは、パカル・ヴォタンと、ボロン・イクとして知られる、パレンケで記念されている神秘的な人物について何を語ってくれるのだろうか？

私たちもその石たちに耳を傾けてみよう。彼らは次のような話を語ってくれた。これがこの恋人たちの台本である。

パカル・ヴォタンとボロン・イクは、経験を積んだ惑星の制御管理者であり、時間旅行者（タイム トラベラー）である。どんな次元も二人と相容れないものはない。時間の目に見えない側面を探検する二人の先駆的な協力関係は、銀河連盟全体で、畏怖と尊敬の眼差しで見られていた。

パカル・ヴォタンとボロン・イクのあいだの協力関係の中心には、二人が互いに恋人同士になるという約束があった。二人は、開かれた未知の冒険領域のすべてで、互いに互いを愛する。愛し合うことで惑星の制御管理に対する究極の挑戦を試みる、時間旅行をする恋人同士は、いまも顕在である。

惑星バビロンが、二人の任地だ。いま、あなたが住んでいる惑星である。次の物語はなじみ深いように思える：ひとつの惑星が空間の中で位置を失い、忘れられた惑星、時間のない惑量となる。これはかつて２度起こった。火星上とマルデク（あなたがたに小惑星帯として知られている破壊された惑星）上である。順番からいうと、同じことが次の惑星であり、いまやバビロン惑星として知られる地球でも起こるのだろうか？

この任務で恋人たちは、同じ星系の２つの異なった惑星に離ればなれになることに同意する！パカル・ヴォタンは地球に。ボロン・イクは天王星に。二人ともマヤ人である。二人はテレパシーと思いを形にする分野でのエキスパートである。

すべての惑星の中でも、もっとも粗野でもっとも損なわれた惑星を制御管理し、二人の技能と愛を試すために、恋人たちは１３バクトゥンより１カトゥンだけ少ない期間にわたって、離ればなれになることに同意した。地球の年代では、二人が離れている期間は５１００年以上の長さにわたっていた。１カトゥン、２０年を残す段階で、ボロン・イクはパカル・ヴォタンの前に現われ、次のように語った。

「１３バクトゥンと７年間で、

あなたの任務は完了する、

私のほうはまだ始まったばかり。

あなたの任務は、１３バクトゥンをセットすること、

私のほうは、いのちの１３の月を織り込むこと。

もしあなたが私のすべてを欲しいと思うほどに、私を求めるなら、

私が織り込んだ道筋、テレクトノンに従いなさい。

７年、１３の月、２８日、すべては思い出されることでしょう。

ついにバビロン惑星を克服するのです！

私たちの愛は再び永遠に結び合わされます」

3 テレクトノン・プレイングボード

テレパシー的なシンクロノメトリーの実践

テレクトノンのゲームボードは、時間の宇宙論の地図である。この宇宙論は、私たちの太陽系の惑星間の歴史を教えてくれる。この歴史は、「天の戦いと制御管理」の中で忘れられた章である。この失われた歴史は、いまやテレクトノンとして、惑星地球に対して新しい機会をもたらすことになった。

２８日の三次元的な流れは緑で示され、地球と天王星をつなぐ管の形をしている（地球霊の通話管）。このテレパシー的な管は、失われた惑星の記憶を回復し、惑星地球における偽りの時間の秩序を真の１３：２０の時間の秩序によって溶解するのに重要である。

２つの垂直の柱は、１３：２０の四次元的な時間の流れを維持する１０の惑星軌道を示す。左側の＜銀河のカルマ的な流れ＞は、右側の＜太陽の預言的な流れ＞によって補完される。

これら２つの太陽の紋章の流れと、２８日のテレクトノンの管の地上歩行と天上歩行のあいだに入っているのが、１６単位の戦士の迷宮である。毎月、戦士の亀が旅する１６日間は、法則の立方体の知識を回復する目的を持っている。なぜだろうか？

１３バクトゥンという尺度で数えられる歴史の周期を通して、法則の立方体は、バベルの塔によって偽りの惑星の権威のもとにある１２：６０の支配へと次第に変容してしまった。法則の立方体は、偽りのバベルの塔の権威がテレパシー的に溶解されないかぎりは、再び獲得できない。これは、テレクトノン、本当の時間のゲームを遊ぶすべての人に委ねられている。

バベルの塔とは、テレクトノンの管の２８日と１日のあいだにある４つの銀河のカルマ的な惑星位置に与えられた名前である。この４つの位置の力を１２：６０が横領したので、それがバビロン惑星として知られる状況を創り出している。２つの力が誤用する側の力であり、もう２つの力が誤用される側の力である。銀河のカルマ的な土星と木星は、物質主義（Ｇ７）と偽りの霊性という誤用する側の２つの力である。マルデクと火星は、性のタブーと死の恐れという誤用される側の２つの力を維持している。

テレパシー的にバベルの塔に立ち向かうために、戦士は預言の塔（舵取りの塔としても知られる）の４つの相補的な力を手に入れることができる。太陽の預言的な火星とマルデクは、預言と永遠の力を携えている。そして太陽の預言的な木星と土星は、ヴィジョンと知性の力を携えている。この４つの力が、バベルの塔の誤用する側をあがない、誤用される側の力を回復させ、そのもともとの霊的な本質に戻すために使われる。

預言の塔に対応するのは、２８日のテレクトノンの管の１３日から１６日のあいだである。これは、禁じられた幻の「天国への階段」として知られている。緑の戦士の亀が立方体に入り、預言の塔の力を活用するとき、天国への階段もまた開かれる。

立方体の位置の中にある４つの預言の力を見つけ、それらが法則の立方体の中心における聖なる交差をどのように取り囲んでいるか調べてみよう。

テレクトノンのプレイングボードの流れ、その動きや相互関係すべてを考慮に入れて、あなたはシンクロノメトリック・テレパスとしての技能を実践しはじめることができる。シンクロノメトリック・テレパスとは、バビロン惑星の力を克服し、それを変容するために、恐れることなく光の剣たるシンクロニシティの尺度を使う、テレクトノンの戦士である。

このボードゲームの目的は、テレパシー的な戦略地図をつくることにある。テレパシー的な戦略において、バベルの塔の誤用する側の力、誤用される側の力の双方が示され、知性の戦士の迷宮の旅が法則の立方体を回復し、天国への階段である預言の塔が完成する。

第１レベル　３つの亀を動かす

テレクトノンを遊ぶ第１レベルでは、３つの亀を使う：黄色いパカル・ヴォタンの亀、白いボロン・イクの亀、そして緑の戦士の亀、である。パカル・ヴォタンとボロン･イクはみずからの行為を表わすために亀を選んだ。それは、亀の地上での永久性およびその甲羅に見られる１３の月の回想によるものだ。

これら３つの亀の動きは、毎月同じである３つの位相に応じて、ボード上の行為の歩調を定める：

１日～　６日	地上歩行	（訳注：正式には２日～５日の４日間を「地上歩行」と呼ぶ）
７日～　２２日	戦士の立方体の旅	
２３日～２８日	天上歩行	（訳注：正式には２４日～２７日の４日間を「天上歩行」と呼ぶ）

１日に黄色いパカル・ヴォタンの亀は２８日間の管に入る。毎月の最初の６日間、黄色いパカル・ヴォタンの亀は毎日ひとつずつ動き、同時に天上の白いボロン・イクの亀は位置２８から位置２３までパカル・ヴォタンに付き添うように動く。このあいだ、緑の戦士の亀は、戦士の立方体の中心の聖なる交差で休んでいる。

戦士の立方体の旅のあいだ、７日から２２日まで、緑の戦士の亀は毎日、立方体の位置１から１６までひとつずつ動く。この間、黄色いパカル・ヴォタンの亀は、管の位置７日から２２日を通ってひとつずつ動き続ける。白いボロン・イクの亀は、位置２３にとどまり続け、そこで待ちながら９つの預言のヴィジョンを織り続ける。銀河の表記法で書かれた左上の立方体の数字と、それぞれの位置の左下における日にちの数字との対応関係に注意すること。たとえば、立方体１（ ● ）と７日、立方体２（● ●）と８日、立方体３（●●●）と９日などである。

２３日に、パカル・ヴォタンとボロン・イクの亀は、恋人たちの再会の初日を楽しむ。このあいだ緑の戦士の亀は、戦士の立方体の中心にある聖なる交差へと退く。２４日から２８日まで、白いボロン・イクと黄色いパカル・ヴォタンの亀は、当初ボロン・イクが歩いた天上歩行を逆にたどる。２８日には、黄色いパカル・ヴォタンの亀は、天のみずからの霊の塔にいる白いボロン・イクの亀に別れの言葉を告げる。毎月の１日に、黄色いパカル・ヴォタンの亀は、次の２８日間の地上での旅のために地球霊の通話管に入る。

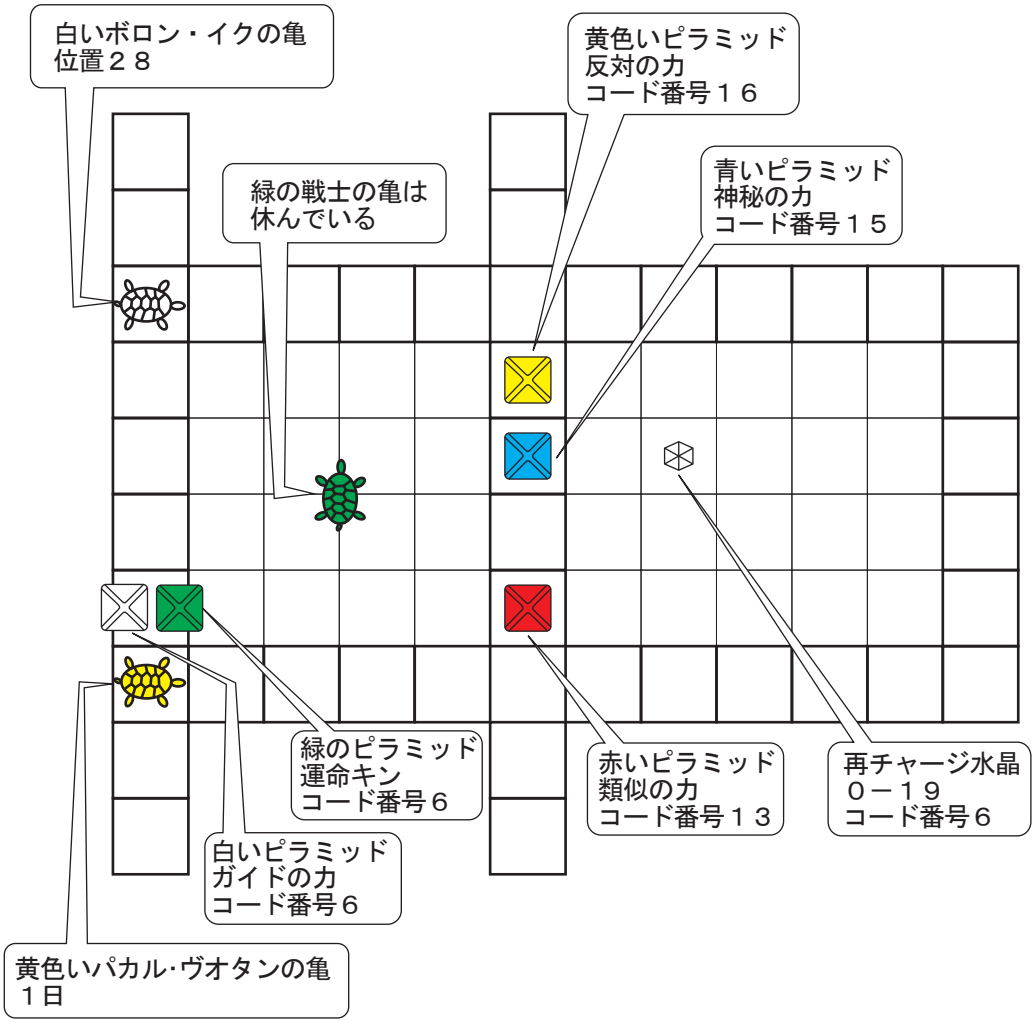
このテレクトノンでの第１レベルの遊びでは、併せて２８日間の「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」から引き出された対応するカードを毎日読むのもよい。

３つの亀に加えて、テレクトノンのプレイングボードでは、その他の１０個のコマを動かすことができる。

全部で１３個のコマは、５２枚のプレイングカードのクロノメトリーとともに、テレクトノンのプレイングボードのシンクロノメトリーを調整する。

テレクトノンプレイングボード

コマの位置
サンプルの日付：預言の第３の年､倍音の月１日
１１・ 世界の橋渡し､キン２０６
（グレゴリオ暦：１９９５年１１月１５日）



第２レベル　日々の動きの目盛りを定める

テレクトノンのボードの第２レベルを遊ぶには、１３の月の暦の特定の年のカレンダーに示される、ドリームスペルの日の＜キン＞とその＜音＞を、あなたが知っていることを前提にしている。この知識があれば、４つの時間の目盛り石、緑の運命のピラミッド、そして再チャージ･バッテリー水晶を動かすことができる。

４つの時間の目盛り石を動かす

１３の月・２８日の亀（左下の丸い図）

○１３の月の石（白）

毎月の１日に、この石を亀の甲羅の対応する月の番号の位置に置く。たとえば、第１の月の位置は点が１つ（ ● ）、第２の位置は点が２つ（●●）、などである。

この白い月の石は、同じ位置に２８日間置かれる。

●２８日の石（黒）

この石は、特定の月の「日」に対応する形で毎日ひとつずつ動く。たとえば、７日には石を数字の７のところに置く、８日であれば数字の８のところに石を移動する、などである。

１３の銀河の音・２０の太陽の紋章の亀（左上の丸い図）

○１３の銀河の音の石（白）

この石は、ウェイブスペルの音１～１３に応じて、毎日ひとつずつ亀の甲羅の位置を動く。

●２０の太陽の紋章の石（黒）

この石は、２つの垂直の流れにある運命キンに対応するコード番号０～１９に応じて、毎日ひとつずつ動く。

緑の運命のピラミッドと再チャージ・バッテリー水晶を動かす

☒ 運命のピラミッド（緑）

２つの垂直の流れのうちどちらかのコード番号０～１９の対応する位置に、このピラミッドを置く。この位置は常に２０の太陽の紋章の石の位置にあるコード番号と一致する。垂直の流れの０～１９コードの順番に応じて、このピラミッドを毎日動かす。

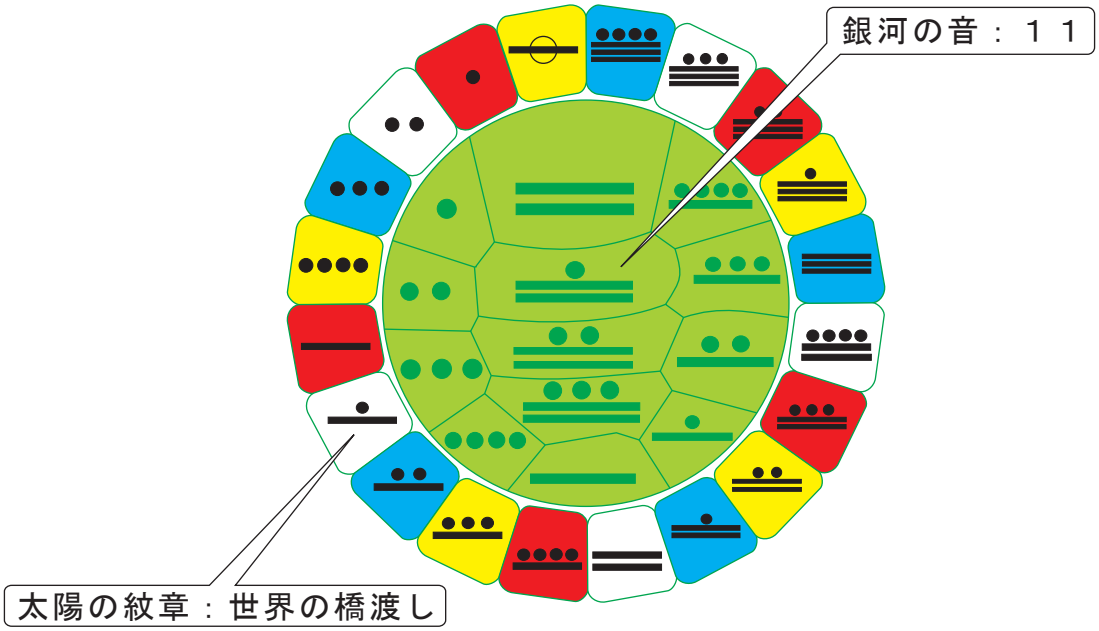
㊋再チャージ水晶（クォーツ水晶）

この水晶を０～１９再チャージ・バッテリーで、緑の運命のピラミッドの位置のコード番号に対応させて毎日動かす。１９の位置に着いたら、再び０に戻り、これを毎日、（グレゴリオ暦の）ＡＤ２０００年の７月２５日、＜白い共振の鏡＞の日、第２の千年紀の預言の勝利まで続ける。それから２０１３年までは、時間の魔術の回復をはかるあなた自身を助けるために、あなたの超時間（ハイパー・タイム）チャージされた水晶を使う。

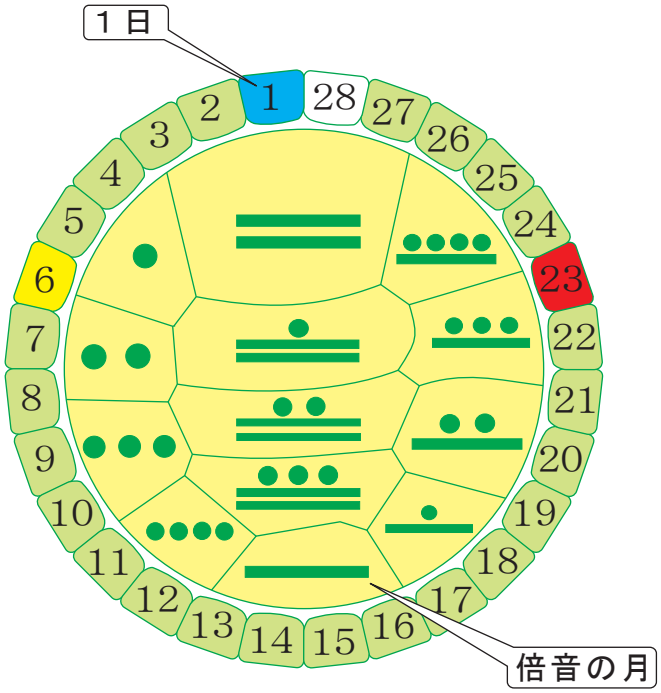
時間の目盛りの亀

４つの時間の目盛り石

サンプルの日付：
預言の第３の年、倍音の月１日、１１・世界の橋渡し



１１・世界の橋渡し



倍音の月１日

第３レベル　恋人たちの台本のカードゲーム

第Ⅱ章のセクション５（Ｐ．２７～Ｐ．３７）を参照

第４レベル　ドリームスペルの第５のカのお告げ遊び

図表「お告げの流れのシンクロノメトリーを決めるガイド」を学ぼう。

４つ宇宙の色の４つのピラミッド、赤、白、青、黄色と、毎日の運命キンのための第５番目の緑のピラミッドがある。これらの５つの色のついたピラミッドは、２つの垂直の流れを毎日移動し、次の関係の組を創り出す。

類似の惑星パートナーの役割

組になった類似のパートナーの色は、常に＜赤と白＞、＜青と黄色＞である。運命キンのコード番号と、その類似のパートナーのコード番号の合計は、常に１９である。２つの垂直の流れでは、類似のパートナーは常に運命キンの真横に来る。それは、２つが惑星パートナーだからである。類似のパートナーは、運命キンを支える。

反対の惑星パートナーの役割

組になった反対のパートナーの色は、常に＜赤と青＞、＜白と黄色＞である。運命キンのコード番号と、その反対のパートナーのコード番号の差は、常に１０である。２つの垂直の流れでは、反対のパートナーは常に運命キンと放射状に反対になる。反対のパートナーは、運命牛ンに挑戦する。

神秘の惑星パートナーの役割

組になった神秘のパートナーの色は、常に＜赤と黄色＞、＜白と青＞である。運命キンのコード番号と、その神秘のパートナーのコード番号の合計は、常に２１である。運命キンと神秘のパートナーの関係における―定のパターンを知るために、「お告げの流れのシンクロノメトリーを決めるガイド」を学ぶ。

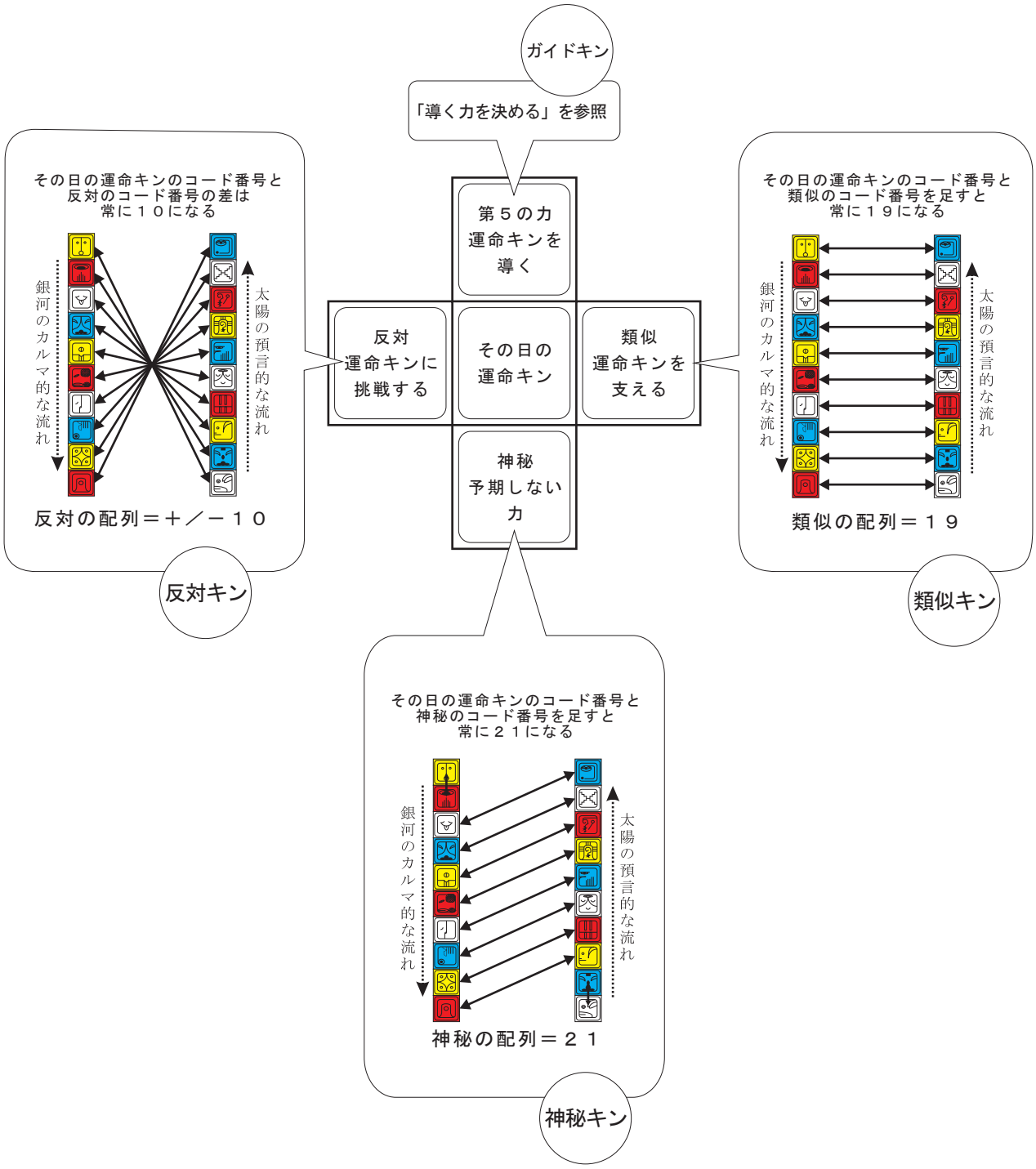
ガイドの惑星パートナーの役割

運命キンのガイド（導く力）は、常に運命キンと同じ色である。その日の＜第５の力のお告げ＞の導く力を決定するための法則は、銀河の音とキンのコード番号との関係に基づく。その日の銀河の音は、その日の＜銀河の翼＞の位置にあるウェイブスペルのカードにある。

お告げの流れのシンクロノメトリーを決めるガイド

プレイングボード上の５つのピラミツドを動かすためと、
７つの世代のお告げの５つのキンの位置を解釈するための、第５の力のお告げガイド

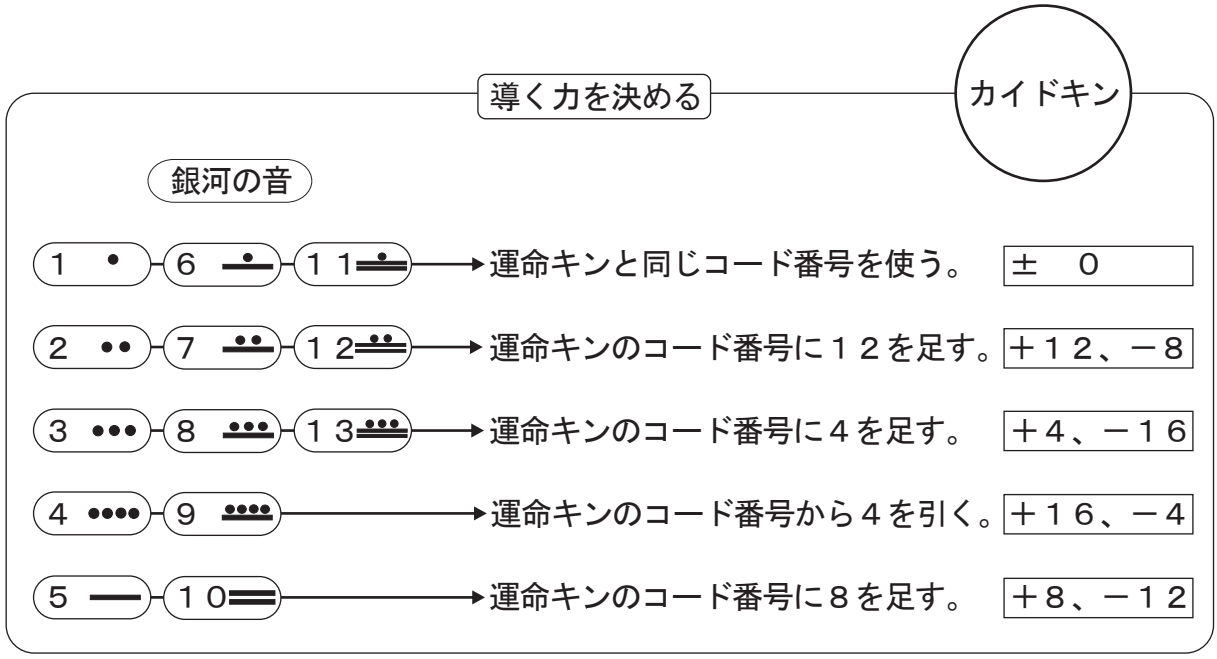
第５の力の立方体の力
毎日のお告げと７つの世代のお告げを解釈する



どの日のキンも、そのコード番号によって決まる反対、類似、神秘の力がある。
テレクトノンのプレイングボードで、上記の３つの流れ図に示されるように、
反対、類似、神秘の関係は常に一定である。

導く力を決める法則は次のとおりである：

その日の運命キンが、次の銀河の音でコード化されている場合
ガイドキンの**コード番号**を見つけるには常に、



その日の４つの色のついたピラミッドの動きのパターンは、その日のキンの順番に応じた緑の運命のピラミッドによって同期がとられる。第１に、緑の運命のピラミッドをその日のキンに置く。たとえば、＜１１・世界の橋渡し＞であれば、緑のピラミッドを、銀河のカルマ的な流れの中でコード番号が６の白い位置に置く。そして、その日の惑星パートナーの位置にその他４つのピラミッドを置く。ピラミッドの色は常に、２つの垂直の流れの中での惑星パートナーの位置の色と一致する。たとえば、＜１１・世界の橋渡し＞だと、赤いピラミッドは、太陽の預言的な流れの赤い１３の位置に（類似のパートナー）。黄色いピラミッドは、太陽の預言的な流れの黄色い１６の位置に（反対のパートナー）。青いピラミッドは、太陽の預言的な流れの青い１５の位置に来る（神秘のパートナー）。そして、この例でその日の運命キンの音は１１なので、白いピラミッドは、銀河のカルマ的な流れの６の白い位置にある緑のピラミッドのすぐ横（同じ位置）に置かれる（ガイドのパートナー）。

P．１６参照

覚えておこう：テレクトノンによれば、テレパシーは惑星間の現象である。あなたが毎日、第５の力のお告げのピラミッドを動かすときには、それぞれの日の惑星の相互関係やその回路について学ぶこと。「宇宙の形の書」の４枚のカードを使って、２０の運命キンの太陽の紋章やコード番号に親しむ。このようにして、毎日毎日、少しずつ、あなたは失われた惑星のテレパシー的なあがないに参加するようになる。

シンクロノメトリー：テレパシー的な力線の実践

シンクロノメトリー、テレパシー的な時間の追跡の本質は、力線の実践によって達成される。これは、ブレインクボート自体の上を旅する９つのコマのどれか、またはすべての相関的な位置を熟慮することによってなされる（最初の４つの石は時間の目盛りを定めるものである）。

プレイングボードとその回路は、私たちの太陽系、キニチ・アハウ、およびその惑星軌道の、惑星間の四次元テレパシー的な時間地図を表わす。特定の位置にあるそれぞれの動いているコマは、テレパシーの力線である。毎日、９つの動いているコマのどれか、あるいはそのすべてによって形づくられるパターンを観測する。線を追いかける。それらはどれにつながっているのか？　それらは交差を創り出しているか？　つながっているポイントや交差しているところにテレパシー的にあなたの心をつなぎとめよう。あなたの霊を動くままにさせ、それに応じてあなたの意志が行為を引き起こすままにさせる。あなたの鍵となるターゲットーバベルの塔の誤用する側の力を克服し、変容すること。またその誤用される側の力をあがなうことーを覚えておこう。

垂直の力線

垂直の力線は、２８日間のテレクトノン・地球霊の通話管の、対応する下と上の日の位置によって決まる。

テレクトノンの日の位置に対応する垂直の力線

１	２８	**霊の塔**（バベルの塔） 銀河のカルマ的な流れ、前意識の場
２	２７	宇宙間に伝わる９のカ、無意識の揚
３	２６	宇宙間に伝わる１３のカ、意識の場
４	２５	宇宙間に伝わる５のカ、第５のカの継続意識の揚
５	２４	宇宙間に伝わる４のカ、宇宙の形の超意識の場
６	２３	**舵取りの塔**（預言の塔） 太陽の預言的な流れ、潜在意識の場
７	２２	仏陀ー新しいエルサレム
８	２１	キリストー新しい天、新しい地
９	２０	赤と黒の主たちー預言７
１０	１９	マホメット、パカル・ヴォタンー預言６
１１	１８	ケツァルコアトルー預言６
１２	１７	バクトゥン１２ー預言４（天国への階段）

水平の力線

水平の力線は、５つの回路を創り出す、組になった惑星軌道によって決まる。

５つの惑星開回路と２０の惑星の力

回路１ ――― 冥王星―――水星

アルファ・オメガ再チャージ回路
３６単位ー太陽銀河メタ意識
銀河の表記法のコード番号：０、１９、９、１０
啓発、自己発生、浄化、愛

回路２ ――― 海王星―――金星

連合した記憶と本能
３２単位ー水晶の力、ＤＮＡ構造の２分の１
銀河の表記法のコード番号：１、１８、８、１１
記憶、瞑想、芸術、魔術

回路３ ――― 天王星―――地球

テレクトノン・バイオテレパシー的な回路
２８単位ー地球霊の通話管
銀河の表記法のコード番号：２、１７、７、１２
霊、舵取り、遂行、自由意志

回路４ ――― 土星―――火星

外部化する知性の回路
２４単位ーテレパシー的な目標の力
銀河の表記法のコード番号：３、１６、６、１３
豊かさ、知性、死、預言

回路５ ――― 木星――マルデク

内部化する知性の回路
２０単位ーテレパシー的な目標の力
銀河の表記法のコード番号：４、１５、５、１４
開花、ヴィジョン、性、永遠

Ｐ．８参照

「宇宙の形の書」のカードの裏側の上半分と、図表「テレクトノン：１０の惑星軌道と５つのテレパシー回路」を再度参照。

4 パカル・ヴォタンの石棺

１３のはっきりとしたしるし

あなた自身で、パカル・ヴォタンの墓を見つけてみよう。それは、メキシコのチアパス州パレンケにある、今日では＜碑銘の神殿＞と呼ばれる９段の法則の神殿の中にある。

パカル・ヴォタンの墓は、唯一、エジプトのギザのグレードピラミッドの＜王の間と女王の間＞に比肩されるものてある。ＡＤ６９２年に完成したパカル・ヴォタンの墓は、それから正確に１２６０年後の１９５２年に発見された。いまやあなたが石棺を開いて、墓の「４つの知恵の書」、恋人たちの台本の５２枚のプレイングカードを発見する番だ。

石棺の箱の蓋は、「預言を語る石」を示す。パカル・ヴォタンは、天と地をつなぐクシャン・スウムという神秘の知恵の樹を見つめながら、テレクトノン、すべての預言の母の上に横になっている。

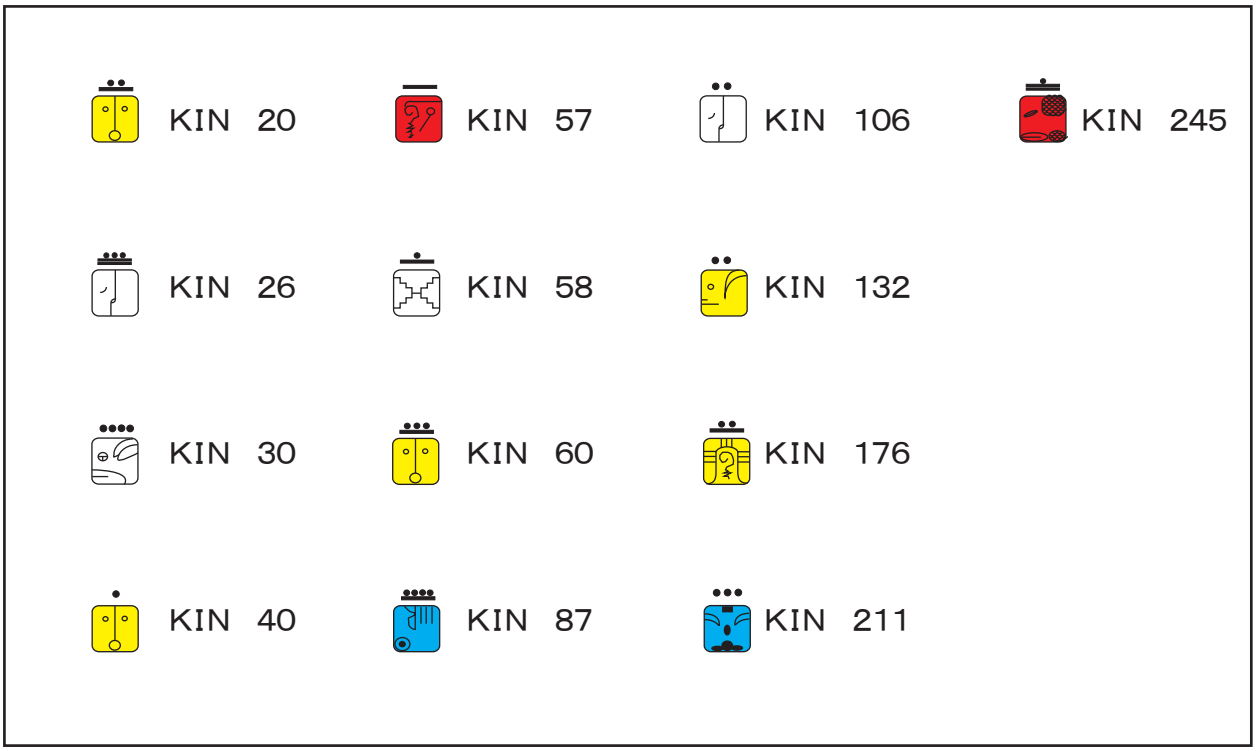
石棺の箱の蓋の縁のまわりには、パカル・ヴォタンの銀河の通路＜８・太陽＞から「死の知恵を伝える魔法使いの蓄え」＜１３・世界の橋渡し＞までの、１３のはっきりとしたしるしがある。それらの紋章を惑星と対応させてみる。たとえば、＜太陽＞＝冥王星。２つの誤用される側の力の惑星をあがなうパカル・ヴォタンを手伝おう。

１３のはっきりとしたしるしのインデックス

㊗			音の合計
	南の縁		
①	キン６０	８（ ▪▪▪▪ ）太陽	１４、⑥の組と結び合わされて＝２８
	キン５８	６（ ▬• ）鏡	
	東の縁		
②	キン５７	５（ ▬ ）地球	２８＝２８日周期の力
	キン１７６	７（ ▬▪▪ ）戦士	
	キン８７	９（ ▬▪▪▪▪ ）手	
	キン２０	７（ ▬▪▪ ）太陽	
③	キン２４５	１１（ ▬▬• ）蛇	１３＝１３の月の周期の力
	キン１３２	２（ •• ）人	
	北の縁		
④	キン１０６	２（ •• ）世界の橋渡し	２＝火星の死の分極化の力
	西の縁		
⑤	キン２１１	３（ ••• ）猿	７＝預言の基礎となる力
	キン３０	４（ •••• ）犬	
⑥	キン４０	１（ • ）太陽	１４、①の組と結び合わされて＝２８
	キン２６	１３（ ▬▪▪▪ ）世界の橋渡し	

すべての音の総計＝７８＝６×１３
７８＝パカル・ヴォタンの特別な数字

銀河スピンの順番で、１３のはっきりとしたしるしは、パカル・ヴォタンの特別な１３日である。その並はずれた魔術が起こるときにはいつも、それに同調しよう！



パカル・ヴォタンは、キン７８で死の知恵を伝える魔法使いの蓄えを完了する。

5 テレクトノン：恋人たちの台本のカードゲーム

テレクトノン、地球霊の通話管は、愛の聖なる再会の預言である。この預言の中で、４つの完全な週の２８日間、１年に１３の月、預言の７年で、愛の聖なる再会を追体験し、バビロン惑星をあがなう。

愛のあがないに備えるために、パカル・ヴォタンは１３バクトゥンより１カトゥン少ない期間を設定した。１バクトゥンは144,000キン（日）、394.52年である。第１のバクトゥンは紀元前3113年に定められた。１３番目のバクトゥンは、ＡＤ1618年にはじまった。人類は、いまや自由意志と聖なる目的の記憶か、あるいは狂気に満ちた科学とバビロン惑星、時間のない惑星のどちらかを選ぶという試練への準備を整えた。

１３番目のバクトゥンの終わりが近づくにつれて、惑星地球がバビロン惑星になったことは明らかだった。人工的な時間に対する隷属状態から、人類は物質主義と呼ばれる悪魔的に推進される機械を創り出した。だが、バビロンの住民たちは、真の時間について何を知っていたというのだろう？

第１のバクトゥンから、時間は不公平に配分された。１２か月の暦が、１３の月の暦の代わりに使われた。月の時間の代わりに、人類は、「１か月」と呼ばれる恣意的な抽象に従いはじめた。「１か月」は、金銭の尺度であり、「月」の尺度てはない。誰かが「時は金なり」といくら繰り返しても、金銭が時間であるとは証明できない。

時間を奪われ、金銭の「か月」、１年１２「か月」に隷属した人類文明は、１２バクトゥンの進路を進むにつれて、バビロン惑星、時間のない惑星へと変えられた。

この惑星を救うために、パカル・ヴォタンは第１のバクトゥンのあいだに地球に入り込み、その間ボロン・イクは天王星にとどまった。６バクトゥンのあいだ、恋人たちはお互いに宇宙間の連絡を取り合いながら、テレクトノンと呼ばれる魅惑的な力、時間の預言を織り込んだ。

この時間の預言によれば、１３番目のバクトゥンの終わる前に１カトゥンが残されたとき、テレクトノン、地球霊の通話管が、恋人たちの台本の預言としてバビロン惑星に現われることになっていた。

２８日、１週間７日、ひとつの月に４週間、１３の月、１年５２週。プレイングカードは通常５２枚でひと組み。５２週、５２枚。あなたはいままで、週とカードのあいだにつながりがあるなどと想像したことがあっただろうか？

これは勝つか負けるかのカードゲームというより、預言のカードゲームである。５２枚のカードを２８日間で扱う。預言によれば、１３の月の２８日のそれぞれは、それみずからの預言の力を持っている。

２８枚の日のカードは、恋人たちの台本の５２枚のカードを構成する４つの「書」のうちの1つを形づくる。残りの３つの「書」のカードのそれぞれもまた、もはやバビロン惑星では生きられることも知られることもない、時間の周期に対する鍵を握っている。

バビロン惑星の外には、違った種類の時間がある。２８日、１３の月は、２０の太陽周波数と１３の銀河の音によって四次元へと組み込まれる。これはバビロン惑星に住んでいるかぎり決してわからない。それは、このカードを扱うことによってのみ学べることだ。

５２枚のカードーパカル・ヴォタンの４つの知恵の書、あなたが再発見し、あなたが「読む」書ーは、普遍生命の太陽銀河周期、その失われた知恵の書である。

テレクトノン：普遍的なデイリー・クロノメーター

パカル・ヴォタンとボロン・イクは、バビロン惑星が時間統制へと変容されるまでは、再会できない。時間統制は、第１のバクトゥンの起源の144000キンがテレクトノン、恋人たちの台本である預言のカードゲームを遊ぶことで、みずからを思い出さないかぎり戻ってこない。

時間統制を回復するために、人類はみずからの周波数を変える必要がある。人類がバビロン惑星にいるかぎりは、人工的な時間、１２：６０の周波数で機能する。１３の月の暦のかわりに１２か月の暦、２０本の手足の指の代わりに１時間６０分。２０本の手足の指というと、最新流行の腕時計をつけている人には陳腐に思われるかもしれない。だが、時計と、あなたの手と足の指のどちらが、よりよい時間を刻むことができるのだろうか？

もし１２：６０が偽りの周波数なら、正しい周波数は１３：２０、１３の月と２０の指である。周波数を変えるために、恋人たちの台本である預言のカードゲームが、単純な日々の配列、テレクトノンの普遍的なデイリー・クロノメーターをもたらす。クロノメーターとは時間をはかる装置のことだ。クロノメーターは、１３：２０の周波数に応じて毎日、時間をはかる。

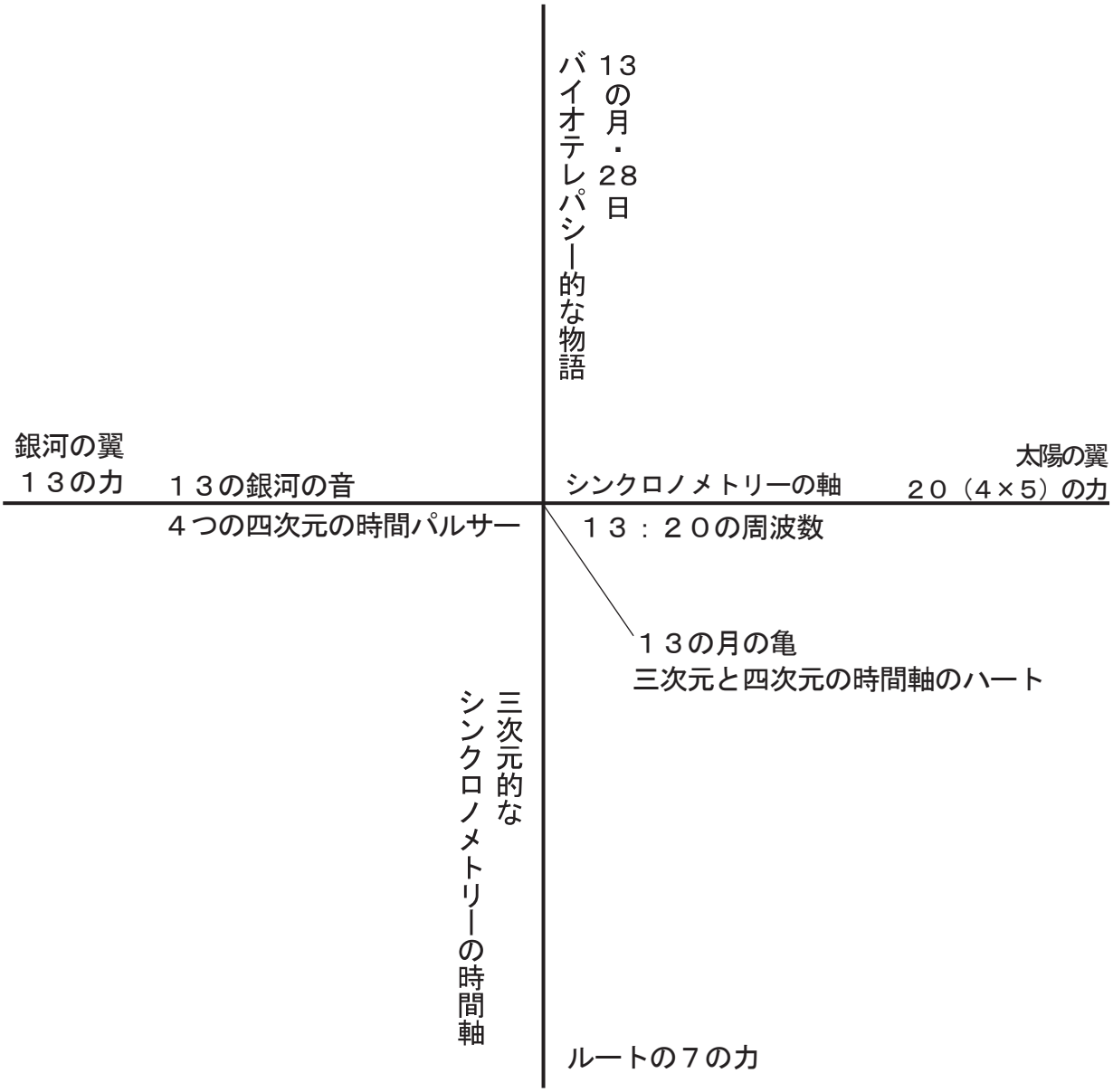
毎回、あなたが地球霊の通話管を２８日間にわたって歩くたびに、デイリー・クロノメーターは、１３：２０の周波数で恋人たちの台本の追体験の歩調を定める。毎日、もっともシンプルな方法で、カードを配列することにより、あなたは自分の周波数を１２：６０から１３：２０へと変えている。

あなたのテレパシーを増大させ、あなたの心とあなたの愛を広げることで、あなたは、パカル・ヴォタンとボロン・イクが２８日間の惑星地球と天王星を結びつけている普遍的な時間と愛のトンネルを創造するのを助ける。

パカル・ヴォタンとボロン・イクは、２０００年７月２５日までに、二人の愛の誓いを完了し、バビロン惑星をあがなわなければならない。２０００年７月２５日は預言の７年の最後の日で、この７年間は、起源の144000キンが１３バクトゥンのキン数である1872000キンへと増えるために割り当てられている時間である。

あなたが、恋人たちの台本である預言のカードゲームのプレイヤーになり、それに参加すれば、あなたの惑星を救うことになるだろう！

普遍的なデイリー・クロノメーターの配列を準備する
銀河時間の２つの軸



５２枚のプレイングカード：パカル・ヴォタンの４つの知恵の書

石棺の箱からパカル・ヴォタンの保存された知識の総計、４つの知恵の書、５２枚ひと組みのカードを取り出す。毎日変わるこのカードの配列は、テレクトノン・プレイングボードの動くコマを補う物語を提供することを意図している。

１）「失われた７つの世代の書」

預言の７年と、失われた７つの世代の書の７枚のカード。

表　法則の立方体と、預言の７年に合致する預言の７つの封印のついた心のヘプタゴノン。

裏　３つのお告げ――年のお告げ、時間をはずした日のための輪のお告げ、そして失われた世代のお告げ――の２つずつの年ごとの配列。

２）「銀河時間の書」

１３の月と１３の銀河の音を示す１３枚のカード。

表　それぞれ１３の月のひとつを示す１３の月の亀。

裏　それぞれ１３の銀河の音のひとつを示す、四次元の時間のウェイブスペル

３）「宇宙の形の書」

宇宙の４つの色、赤、白、青、黄色と、知識、謙虚、忍耐、力という４つの宇宙の形のそれぞれに対応する４枚のカード。

表　４つの色のひとつ。同じ色の家族の５つの太陽の紋章。
４週のうちの１週：赤は創始する、白は洗練する、青は変容する、黄色は熟成する。
そして、４種類の年のうちの１年：赤い月の年、白い魔法使いの年、青い嵐の年、黄色い種の年。

裏　５つの同じ色の家族の紋章の描写と、各週の色のカの情報の一覧。

４）「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」

時間旅行と惑星の制御管理をする恋人同士、パカル・ヴォタンとボロン・イクの預言的な台本をもたらす２８日のカード。

４つ組の２８日のカード：

1）４枚の力の塔のカード（１、６、２３、２８日）

表　メキシコ・チアパス州パレンケのボロン・イクの宮殿の塔

裏　その日の物語的な描写

2）４枚の地上歩行のカード（２日から５日）

表　メキシコ・チアパス州パレンケのパカル・ヴォタンの碑銘のピラミッド

裏　その日の物語的な描写

3）４枚の天上歩行のカード（２４日から２７日）

表　全体性のマンダラ

裏　その日の物語的な描写

4）１６枚の霊歩行――戦士の立方体のカード（７日から２２日）

表　地球霊の通話管、メキシコ・チアパス州パレンケの碑銘の神殿にある
パカル・ヴォタンの天王星の墳室への階段

裏　その日の物語的な描写

全部で５２枚。遊ぶ２８日間、バビロン惑星を生まれ変わらせ、惑星地球に時間統制を回復する１３の月の１年。愛の指令を読み、人の冒険のサガ（英雄伝説）を再現する。天から歴史へと落ち込み、再び天へと回帰する旅の黙示録的な啓示、１３バクトゥン、預言の７年、テレクトノン、恋人たちの台本。

カードの毎日の配列

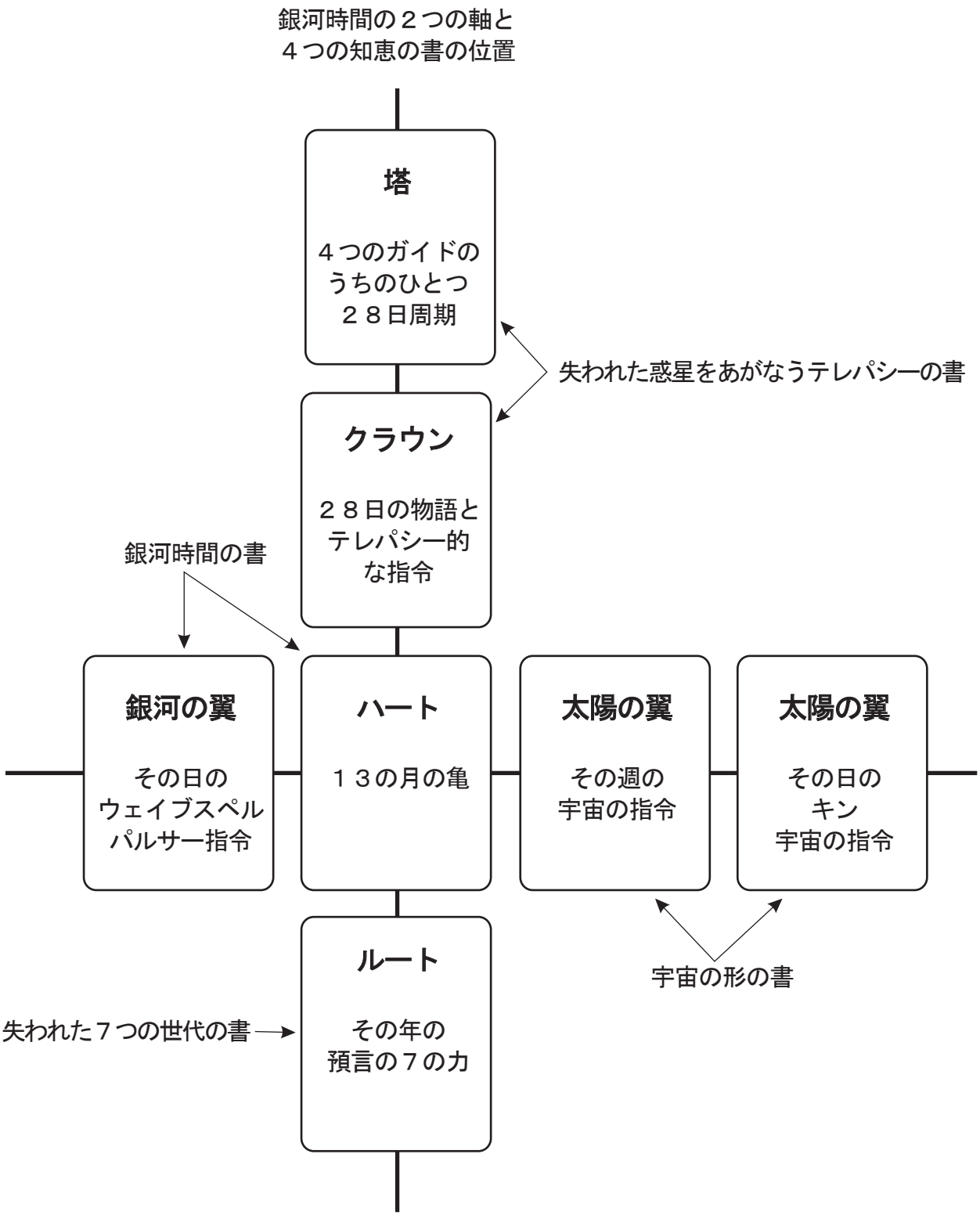
カードの毎日の配列は、第３レベルの遊びと対応する。カードの毎日の完全な配列、普遍的なデイリー・クロノメーターを創り出し、テレクトノン・ボードの動くコマを併せて使うこと。

遊びをはじめるには、普遍的なデイリー・クロノメーターへのあなたの参入をしるす年、月、日にちのメモをつけておくこと。たとえば、預言の第３年、倍音の月１日（グレゴリオ暦：１９９５年１１月１５日）など。このサンプルの日付は、プレイングボードの左下の時間の亀では、白い月の石を５の位置に置き、黒い日の石を１の位置に置くことで目盛りが定められる。２８日の目盛りを定める亀は、常に普遍的なデイリー・クロノメーターの配列の日付に対応する。

それから、時間の２つの軸と、４つの「知恵の書」の位置に応じたカードの配列を示す図表を学ぶ。普遍的なデイリー・クロノメーターの図表に伴う配列の、それぞれの位置に対する「特別なインストラクションのインデックス」を調べる。

日ごとに、カードを配列する手順を進める。

普遍的なデイリー・クロノメーターの配列



特別なインストラクションのインデックス：普遍的なデイリー・クロノメーターのカード配列

ルート（Ｒｏｏｔ）の位置

「失われた７つの世代の書」の７枚のカードのうちの１枚から、この位置のカードを取り出す。

ルート・カードは表側のまま、磁気の月１日から時間をはずした日まで、その位置にそのままずっと置かれる。表側を使って、その年の預言の封印と心のヘプタゴノンを学ぶ。このカードの裏側は、その年の7つの世代のお告げを読むために毎日使われる。（セクション６、「７つの世代のお告げと預言の７年」を参照）

毎月の１４日～２０日は、７枚のカードすべてがこれらの７日間に連続して使われ、心のヘプタゴノンの配列が割り出される。（訳注：カードの表側を見ながら、７つの封印に応じて、毎日１枚ずつカードを並べていく。７日間で７枚すべてのカードが使われ、心のヘプタゴノンの配列となる。）

ハート（Ｈｅａｒｔ）の位置

「銀河時間の書」の１３枚のカードのうちの１枚から、この位置のカードを取り出す。

２８日の月に応じて、対応する１３の月の亀のカードは、表側を上にして置かれ、２８日間のひと月のあいだ、その位置にそのままずっと置かれる。

カードの底辺部はグレゴリオ暦の関連日付を示しており、それに加えて１３の月の亀の甲羅の縁は、２０の太陽の紋章の０～１９のコード番号を示している。それぞれの日は、その日の＜太陽の翼＞のカードからの運命キンの太陽の紋章、およびプレイングボードの対応する運命キンの位置－１３：２０を目盛る亀、銀河のカルマ的あるいは太陽の預言的な流れ、そして再チャージ・バッテリーの運命キン－に一致する。

魔術の亀の日：毎日の＜銀河の翼＞の銀河の音が、２８日間の月のカードの音と同じとき、あなたはその日を「魔術の亀の日」として祝うことができる。魔術の亀の日には、毎日の＜銀河の翼＞の位置のカードの代わりに、＜ハート＞の位置のカードの裏側を使う。魔術の亀の日の目的は、他のテレクトノン・プレイヤーと接触し、学んだものを相互に共有することである。

クラウン（Ｃｒｏｗｎ）の位置

「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」の２８枚のカードのうちの１枚から、この位置のカードを取り出す。

このカードは、毎日変わり、２８日のテレクトノン、地球霊の通話管の亀の動きに一致する。毎日、カードの裏側を使って「恋人たちの台本」の物語を読む。また７日から２２日のカードは、１６日間の戦士の迷宮のあいだの緑の戦士の亀の動きに一致する。

地上歩行と天上歩行

２日から５日は、地上歩行と呼ばれる。これらの４日間、パカル・ヴォタンは、ボロン・イクが平行的な天上歩行をしているあいだ、彼女から宇宙間に伝わる数字の力を受け取る。あなたは、対応する天上歩行のカード、２７日から２４日を取り出して、その物語を読み、地上歩行のカードの下にそのカードを置いてもよい。

２４日から２７日は、天上歩行と呼ばれる。これらの４日間、パカル・ヴォタンとボロン･イクは霊の塔へと共に歩く。これらの４日間のカードは、パカル・ヴォタンが地上歩行をしているあいだにボロン・イクが送った宇宙間に伝わる数字の力を描写する。あなたは、対応する地上歩行のカード、５日から２日を取り出して、その物語を読み、天上歩行のカードの下にそのカードを置いてもよい。

注：天の４つの宇宙間に伝わる数字の力は、意識の４つの活動場を割り出す。無意識、意識、継続意識、そして超意識である。

塔の位置

「失われた惑星をあがなうテレパシーの書」の２８枚のカードのうちの１枚から、この位置のカードを取り出す。

１、６、２３、２８日に対応する力の塔のカードが４枚ある。これら４枚の力の塔のカードは、プレイングボードで三次元と四次元の時間の交差をしるす。

カードの１と２８は、バベルの塔によって妨げられた＜霊の塔＞を定義し、テレクトノン、２８日間の地球霊の通話管への入り口とそこからの出口をしるす。

６日と２３日のカードは、＜舵取りの塔＞としても知られる＜預言の塔＞を定義し、戦士の立方体への入り口とそこからの出口をしるす。

塔のカード、１日：毎月の１日に、このカードは**＜クラウンの位置＞**にあり、＜塔の位置＞は空いている。２日から５日まで、地上歩行ては、このカードは**＜塔の位置＞**にあり、その７の遂行の力は、パカル・ヴォタンが地上歩行をするにあたって彼を導く。

塔のカード、６日：毎月の６日に、このカードは**＜クラウンの位置＞**にあり、＜塔の位置＞は空いている。そして７日から２２日まで、**＜塔の位置＞**にあるこのカードの自由意志の力は、霊歩行をする黄色いパカル・ヴオタンの亀と、戦士の迷宮の旅の中にいる緑の戦士の亀の双方を導く。

塔のカード、２３日：毎月の２３日に、このカードは**＜クラウンの位置＞**にあり、＜塔の位置＞は空いている。そして、２４日から２７日まで、**＜塔の位置＞**にあるこのカードの舵取りの力は、天上歩行をする黄色いパカル・ヴオタンと白いボロン・イクの亀の双方を導く。

塔のカード、２８日：毎月の２８日に、このカードは**＜クラウンの位置＞**にあり、＜塔の位置＞は空いている。これは、２８日間の旅の結論をしるす。翌日は、この**＜クラウンの位置＞**での塔の力のカードの１日とともに再び次の周期をはじめる。

時間をはずした日：宇宙の月の最後の日（２８日）と、磁気の月の最初の日（１日）のあいだの時間をはずした日は、ハート、塔、そしてクラウンの位置が空く。

これで、「普遍的なデイリー・クロノメーター」の垂直のバイオテレパシー的な軸を読むためのインストラクションは完了する。

銀河の翼、毎日の位置

この位置のカードは、「銀河時間の書」の１３の月のひとつから取り出される。１３個の数字は、銀河のドット・バー（点・棒）表記法で示される。

この位置のカードを使うためには、日ごとのキンの銀河の音の知識が必要だ。たとえば、＜１１・世界の橋渡し＞、倍音の月１日、グレゴリオ暦１９９５年１１月１５日は、銀河の音が＜１１＞である。このカードの裏側を、**＜銀河の翼の位置＞**に置く。
このカードの裏側は、１３の音のウェイブスペルを示し、特定の音の位置が強調されている。

カードの裏側は、日々の１３の音のウェイブスペルの指令を与える。加えて、このカードのウェイブスペルの部分は**＜時間パルサー＞**（訳注：次元パルサーと同じ）を赤い線で示している。４つの時間パルサーは、ウェイブスペルと呼ばれる時間の幾何学を創り出す４つの次元を定義している。１３日周期全体を通して時間における関係を同期させるために、毎日、パルサーの位置を謂べること。

パルサー幾何学は、１年間の周期全体を通して１３の月の関係を定義するものでもある。年間のパルサー幾何学は、**＜惑星奉仕のウェイブスペル＞**と呼ばれ、それは四次元の時間に応じて社会的な形態や行為を組織化するために使われる。

覚えておこう：銀河のウェイブスペルの音が、１３の月の亀の音と同じであるとき、この位置は空く。その日のウェイブスペルの指令のために**＜ハートの位置＞**にある１３の月の亀のカードの反対側を使う。これは魔術の亀の日だ！

太陽の翼、毎週の位置

この位置のカードは、「宇宙の形の書」の４枚のカードのうちの１枚から取り出される。

このカードは７日間、１週間のあいだ同じままである。カードの表は、あなたがいまどの週にいるのかを示す。毎月、４つの完全な週に対しては常に同じ曜日と日付の対応関係がある。

それぞれの週は、４つの色――赤、白、青、黄色――のどれかひとつによってコード化されている。これらの色は、その週に特定の宇宙的な指令を与える：第１週、赤は知識を創始する。第２週、白は謙虚さを洗練する。第３週、青は忍耐を変容する。第４週、黄色は力を熟成させる。

カードの裏側を使って、その週の概要を読む。これは、１週間の預言の力の情報と、**＜クラウンの位置＞**に対応する７日間に起こる恋人たちの台本の物語の概観を与える。

太陽の翼、毎日の位置

この位置のカードは、「宇宙の形の書」の４枚のカードのうちの１枚から取り出される。

このカードは、その日のキンに応じて毎日変わる。その日のキンの２０の太陽の紋章は、５つの紋章ずつの４つの色のクループに分けられ、それは４枚の「宇宙の形の書」のカードの表側に示されている。

太陽銀河年である赤い月の年、白い魔法使いの年、青い嵐の年、黄色い種の年を司っている４つの太陽の紋章は、「宇宙の形の書」のカードの表側の中心に現われており、その両側の垂直の流れの位置にはない。

その日の太陽の紋章を、テレクトノン・プレイングボードの２つの垂直の流れのひとつにある緑の運命のピラミットの位置から決める。前掲の例、＜１１・世界の橋渡し＞では、緑の運命のピラミッドは、銀河のカルマ的な垂直の流れの、白い銀河の表記法の６（  ）にあることになる。そして「宇宙の形の書」の白いカードの表側で、銀河の表記法で書かれた数字の６のすぐそばに＜世界の橋渡し＞の太陽の紋章が見つかる。また、＜世界の橋渡し＞の紋章は、この白いカードの銀河のカルマ的な流れの中に置かれていることがわかるだろう。

このカードの裏側の上半分に、４つの色の家族のうちのひとつである、５つの紋章に関する適切な情報が書かれている。その中には、力、流れ、氏族、身体の部位、そしてカッコの中の数字で示された回路が含まれる。

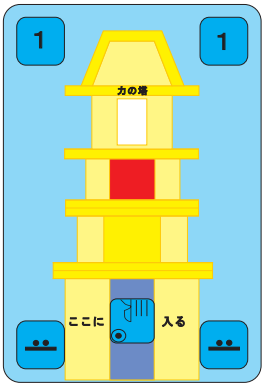
毎週の**＜太陽の翼＞**のカードのキーワードによって創り出される毎日の宇宙の形の指令は、毎日の**＜太陽の翼＞**のカードからのキーワードと組になる。たとえば、＜１１・世界の橋渡し＞、倍音の月１の指令は、謙虚（白い太陽の紋章）の知識（赤い第１週）、という具合である。

キンの色が週の色と同じときには、宇宙の形が二重になるので、毎週の**＜太陽の翼＞**のカードだけを使う。

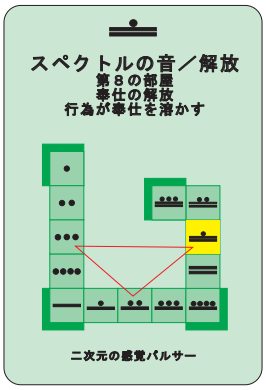
＜銀河の翼＞のウェイブスペルの音と、毎日の**＜太陽の翼＞**のカードを相互参照して、さらにその日の太陽の紋章の四次元の力と場を決定する。再び＜１１・世界の橋渡し＞の例によれば、＜世界の橋渡し＞の紋章は、ウェイブスペルの１１番目の部屋の、音１１に乗っていることを見てとることができる。

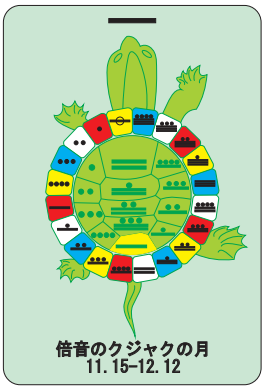
カード配列のサンプル

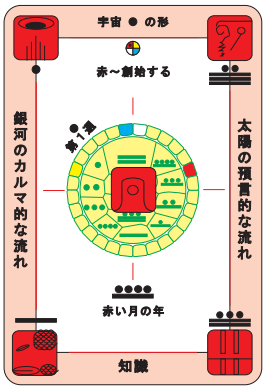
サンプルの日付：
預言の第３の年、倍音の月１日１１・世界の橋渡し

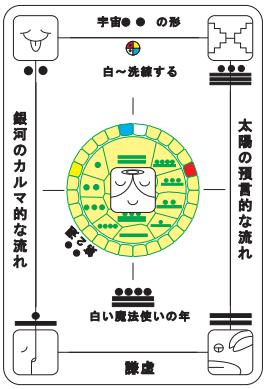


デイ・カード
（日のカード）
塔の日でない
場合に
ここに置く











あらゆる預言の収束
至高の地球ＡＤ１９９３－２０００年をもたらす７つの完全なお告げ
７年、７つの輪、７つの世代

聖なる統一と普遍的なテレパシーの起源の力である法則の立方体を回復するために、「失われた７つの世代の書」のルート・カードの裏側を使って、その年のお告げを読む。日ごとにこのお告げを読むことで、あなたはバビロン惑星の力を倒すために、７つの世代を回復し、７つの時間の輪を鳴り響かせ、庭園の惑星地球の聖なる秩序としての時間統制を確立する。（『テレクトノン：預言を語る石』の１１項および１９項を参照）

この７年のそれぞれの年には、垂直に構成された３つのお告げがある。それぞれの年には、これらの３つのお告げの配列が２つある。第１の配列は、磁気の月１日から共振の月１４日（グレゴリオ暦の７月２６日から１月２３日）までの半年間である。
第２の配列は、共振の月１５日から時間をはずした日（グレゴリオ暦の１月２４日から７月２５日）までの半年間である。３つのお告げのそれぞれは、「お告げの流れのシンクロノメトリーを決めるガイド」の図表に示される第５の力のお告げのパターンに従う。

３つのお告げの位置とは：

１） **クラウン**　「天」の力と指令を表わす。
２） **ハート**　「人」の愛と感情を表わす。
３） **ルート**　「地」の隠された力を表わす。

３つのお告げとは：

１）「年のお告げ」。預言の７年のそれぞれの初日、磁気の月１日（グレゴリオ暦の７月２６日）の、第５の力のお告げに対応する。このお告げは、その年の目的を定義する。

２）「輪のお告げ」。年のお告げで始まった預言の年を完了する時間をはずした日（グレゴリオ暦の７月２５日）の、第５の力のお告げに対応する。「輪」のお告げと呼ばれる理由は、それが太陽のまわりを回る地球の環状軌道が完了する時点を定義するからである。輪のお告げの運命牛ンは、年のお告げと常に同じ音と同じ色を持っており、コード番号が５つ離れている。このお告げは、その年の成果を定義する。

３）「失われた世代のお告げ」。年ごとの預言の勝利の力となるように意図された、その年の隠された力を定義する。７つの失われた世代の年の進行は、キン１９４からキン２００まで順番に続く。

「７つの世代のお告げを読む」（Ｐ．４０）と「お告げの流れのシンクロノメトリーを決めるガイド」（Ｐ．２０）の図表を参照

７つの世代のお告げを読むために、プレイングボードの第５の力のお告げの５つのピラミッドの毎日の位置を学ぶ。（前述：セクション３、テレクトノンのプレイングボード、「第４レベル：ドリームスペルの第５の力のお告げ遊び」を参照）それぞれのピラミッドの位置のコード番号に注意する。これらのコード番号のどれかが、その年の預言のルートの位置にあるカードの裏側の＜７つの世代のお告げのコード＞のコード番号のどれかに、一致するものがあるかどうかを確認する。

７つの世代のお告げで、コード番号がその日の第５の力のピラミッドとひとつ以上一致する場合もある。ここでの目的は、特定の日に７つの世代のお告げでいくつの位置が一致するかを知ることである。

どの半年のお告げの位置も、その位置の合計数は１５である。特定の日に対して、７つの世代のお告げカードで一致する位置の数が多ければ多いほど、その日のお告げの力が増す。もしあなたが、７つの世代のお告げのカードで８つの位置を一致させることができたら、あなたは＜お告げの勝利の日＞を手に入れる！

その日の第５の力のお告げの位置の図表を学び、お告げの力のさまざまな質を決定する。たとえば、運命、類似、反対、神秘、そしてガイドの位置などである。７つの世代のお告げの位置、クラウン、ルート、あるいはハートによって、第５の力のお告げの関係は、あなたのテレパシー的な意志と銀河的な影響力を増大させるのに役立つ、特別な意義を持つことになる。

前半の半年のお告げは、大きな無意識の中で芽生えつつある失われた世代の、その年の預言の封印の力を表わしている。後半の半年のお告げは、その年の預言の明らかにされた目的と意識的な成就として、失われた世代が浮上することを表わす。

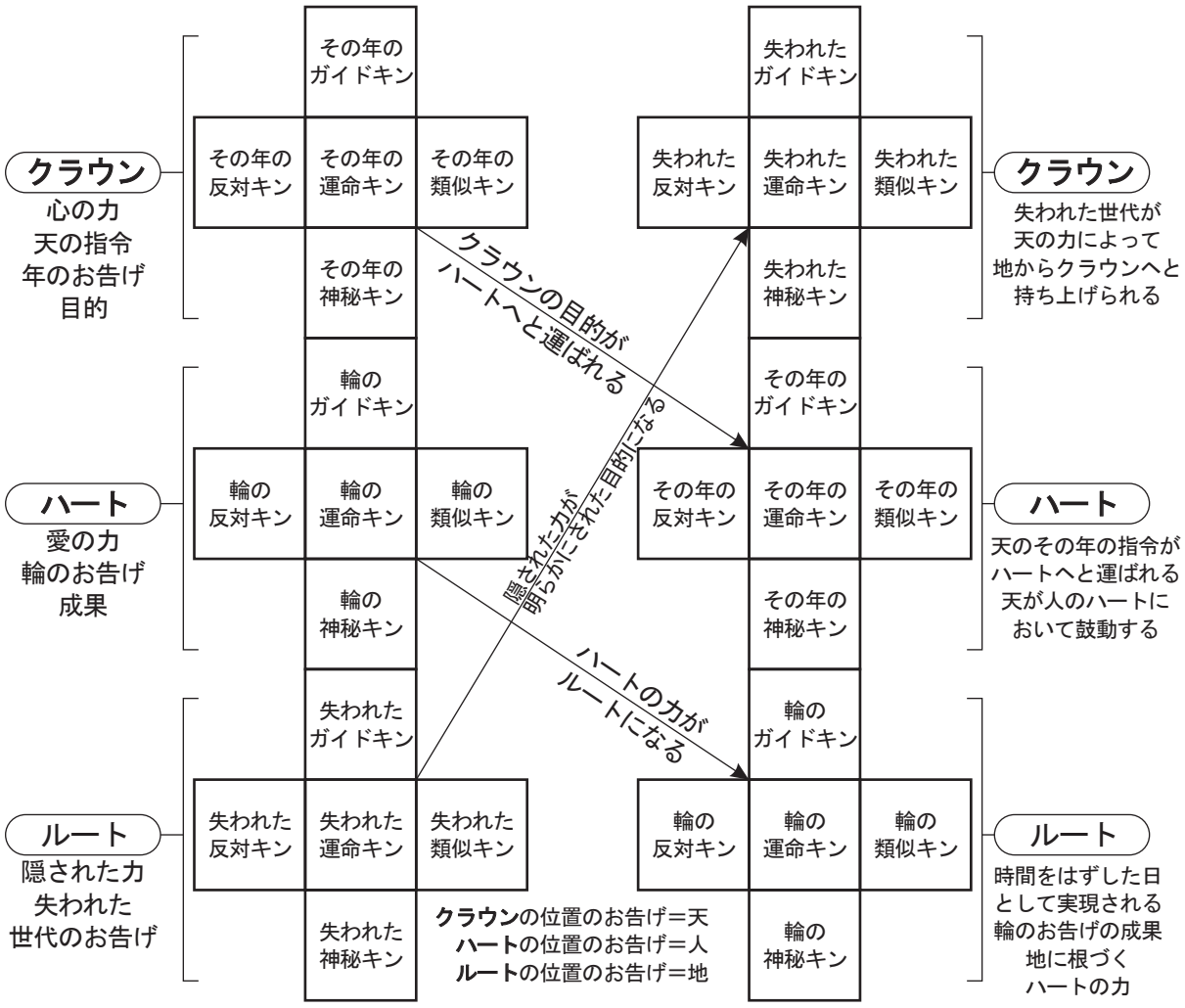
お告げを使うために、常に自分がその年の前半か後半か、どちらの半年にいるかを確定する。もしあなたがその年の前半にいるならば、後半の半年のお告げを、その年の惑星奉仕の目標に応じて想定される成果を確定するために読むこともできる。

もしあなたが特定の年の後半にいるならば、あなたは、「失われた７つの世代の書」の次のカードで示される翌年の前半の半年のお告げを読むこともてきる。最初にあなたが使う半年分のお告げが何であれ、それは現在のお告げであり、そして２番目の半年は、現在によってもたらされる未来の状況を読むためのものである。

覚えておこう：テレパシー活動は、四次元の知的な行為である。これらのお告げを読むことで、あなたは新しい領域を探索している。この新しいテレパシーの実践において、あなたの好奇心や探求力に限界はない。あなたの発見したことを、他の人々に伝えたり、それを共有することは、このプロセスにおいて不可欠である。

７つの世代のお告げを読む

「失われた７つの世代の書」の
７枚のカードの裏側を読む鍵



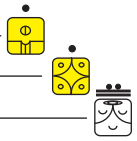
原初のお告げの配列
磁気の月１日～共振の月１４日
（７月２６日～１月２３日）

進展したお告げの配列
共振の月１４日～時間をはずした日
（１月２４日～７月２５日）

年ごとの７つの年、７つの輪、７つの世代のお告げ

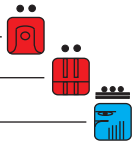
＜預言の第１年、勝利は目指す　ＡＤ１９９３～１９９４＞

年のお告げ	：黄色い磁気の種	キン１４４
輪のお告げ	：黄色い磁気の星	キン２４８
世代のお告げ	：白い水晶の魔法使い	キン１９４



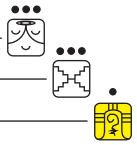
＜預言の第２年、勝利は流れる　ＡＤ１９９４～１９９５＞

年のお告げ	：赤い月の月	キン２４９
輪のお告げ	：赤い月の空歩く者	キン　９３
世代のお告げ	：青い宇宙の鷲	キン１９５



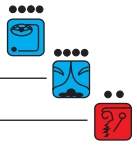
＜預言の第３年、勝利は鎮める　ＡＤ１９９５～１９９６＞

年のお告げ	：白い電気の魔法使い	キン　９４
輪のお告げ	：白い電気の鏡	キン１９８
世代のお告げ	：黄色い磁気の戦士	キン１９６



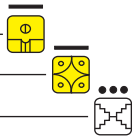
＜預言の第４年、勝利は確立する　ＡＤ１９９６～１９９７＞

年のお告げ	：青い自己存在の嵐	キン１９９
輪のお告げ	：青い自己存在の夜	キン　４３
世代のお告げ	：赤い月の地球	キン１９７



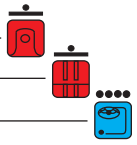
＜預言の第５年、勝利は解き放つ　ＡＤ１９９７～１９９８＞

年のお告げ	：黄色い倍音の種	キン　４４
輪のお告げ	：黄色い倍音の星	キン１４８
世代のお告げ	：白い電気の鏡	キン１９８



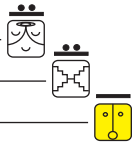
＜預言の第６年、勝利は清める　ＡＤ１９９８～１９９９＞

年のお告げ	：赤い律動の月	キン１４９
輪のお告げ	：赤い律動の空歩く者	キン２５３
世代のお告げ	：青い自己存在の嵐	キン１９９



＜預言の第７年、勝利は放出する　ＡＤ１９９９～２０００＞

年のお告げ	：白い共振の魔法使い	キン２５４
輪のお告げ	：白い共振の鏡	キン　９８
世代のお告げ	：黄色い倍音の太陽	キン２００



預言の7つ封印


預言の第１年：勝利は目指す


預言の第２年：勝利は流れる


預言の第３年：勝利は鎮める


預言の第４年：勝利は確立する


預言の第５年：勝利は解き放つ


預言の第６年：勝利は清める


預言の第７年：勝利は放出する

心のヘプタゴノンを再構築する

ルートのお告げの預言カード「失われた７つの世代の書」。

毎月の１４日から２０日までは、預言の７年を再現する。これらの７日のあいだ、あなたは心のヘプタゴノンの配列を創りはじめるために、「失われた７つの世代の書」から対応するカードを取り出してもよい。

カードの表側にある心のヘプタゴノンのデザインに従い、７枚のカードを配列する。たとえば、第１の封印を持つ預言の第１年のカードはいちばん上、第２年のカードはいちばん下、などである。２０日までに、心のヘプタゴノンの配列における「失われた７つの世代の書」の７枚のカードを使った＜７枚カード配列＞は、あなたの毎日のクロノメーターの垂直の時間軸のルートで完了する。

このようにして、毎月、あなたは、聖なる＜一なるもの（ワンネス）＞の法則の立方体の勝利として統一された、惑星規模の精神圏の到来となる集合的な心、意志、霊の回復を再創造できる。

心のヘプタゴノンをコード化する預言の７つの封印は、神秘の７の力を表わす。パカル・ヴォタンはみずからの自由意志により、６番目のバクトゥンの頃、イスラエル人のバビロン捕囚の時代に、地球の中心における天王星の聖櫃の中にこれらの７つの封印を保存した。（「失われた惑星のテレパシーの書」の６日目のカードを参照）

7 テレクトノン：預言を語る石

テレクトノン、恋人たちの台本の預言カード・ゲームは、マヤの預言者パカル・ヴォタンと彼の天の恋人、ボロン・イクの預言的な贈り物である。

パカル・ヴォタンは、あらゆる男性であり、聖なる戦士の旅をするあなたの中にいる男性である。ボロン・イクは、あらゆる女性であり、あなたの旅のヴィジョンを織り込むあなたの中にいる女性である。

二人のカードゲームをすることで、あなたは地球と天王星をつなぐ＜愛と時間のトンネル＞を掘るのを助ける。預言の７年にあたるＡＤ１９９３～２０００年は、このトンネルを創り出すのに割り当てられた時間であり、パカル・ヴォタンとボロン・イクの再会をもたらすものである。

毎月、恋人たちには、６日間の一時的な救済期間がある。２３日から２８日まで、ボロン・イクとパカル・ヴォタンは、あなたのテレパシーを通して再会する。毎月これが起こるたびに、あなたは二人の愛を強化し、二人の愛はあなたを強化する。このカードゲームに参加し、遊ぶ人々が月ごとにふえればふえるほど、ますます二人の愛の炎は激しく燃え上がり、地球と天王星のあいだのトンネルが開かれる。

パカル・ヴォタンとボロン・イク、この預言、そしてあなた自身、すべては真実である。テレクトノンの１０日目のカードは、パカル・ヴォタンが１０番目のバクトゥンのあいだに生きていたことをあなたに告げる。実際にパレンケと呼ばれる場所や、ボロン・イクの宮殿、風の塔がいまもあるのだ。

パカル・ヴォタン（ＡＤ６０３～６８３年）は、中米マヤ人のあいだで伝説的な王だった。彼の都市の名前は、ナー・チャンあるいはパレンケと呼ばれ、現在もメキシコのチアパス州のジャングルの中にある。

彼の豪華な石棺は、１９５２年、碑銘の神殿の下で発見された。ＡＤ６９２年に墳室の扉が閉じられて、それが最初に開けられた１９５２年まで、ちょうど１２６０年が経過した。それから３５年後の１９８７年、人類の再統合に向けての最後の呼びかけ、ハーモニック・コンバージェンスがやってきた。そして、それから７年後の１９９４年、パカル・ヴォタンのテレクトノン、預言を語る石がやってきた。

この預言は、「失われた７つの世代の書」に基づく。預言の７年は、７つの世代それぞれがみずからを明らかにするのにかかる時間で、１年にひとつの世代が対応し、それぞれの世代にはひとつのお告げ、またひとつの失われた世代が完了するためのひとつの輪がある。どの失われた世代にあなたは属するのだろうか？　どの輪をあなたは完了させるのだろうか？

見る目を持ち、聞く耳を持ち、そして想像する心、感じるハートを持つあなたのために、この預言とカードゲームは存在している。

パカル・ヴオタンの預言は、石棺の蓋の大きな彫刻された石に敬意を表して「預言を語る石」と呼ばれる。この石のあらゆるしるしや象徴は、「夜明けの人々と聖なる書の人々を結ぶ」この預言のテキストで‘語られている’。

パカル大王は、その肉体においてマヤ人だったにもかかわらず、彼の知恵は普遍的な時間を解き放つ。ＡＤ６９２年に彼の墓が完成してから、それが開かれたＡＤ１９５２年までちょうど１２６０年が経過したように、それが完成してから、１３バクトゥンの計算の幕が閉じるＡＤ２０１２年までは１３２０年ある。墓が完成してから、それが開かれるまで、そして歴史の周期が完了するまでの年数は、計時周波数の数字と一致している。この墓の中の１２６０年間は、物質主義という偽りの時間の中に追放された１２：６０の周波数である。その周期を閉じるまでの１３２０年間は、真の時間のあがないである１３：２０の周波数である。

パカル・ヴォタン自身の声が述べたように、「テレクトノン、預言を語る石」は、生きた預言である。それは平和の預言である。あらゆる預言と同じく、その根本的な伝言は、とても単純だ。「ここに知識がある。ひとたびこの知識を聞いたなら、あなたには選択権がある。あなたはどんな選択をするのだろうか？」

※訳注：以下の用語の配列は、英語のアルファベット順になっています。

【バビロン惑星】Babylon Planet:独占的な物質主義の現代文明に与えられた名前。12:60の計時周波数に捕らわれた人類の心。１３番目のバクトゥン、ＡＤ１６１８～２０１２に対応する。テレクトノンによってあがなわれる。

【バクトゥン】Baktun:１４４０００キン(日)の数え方。１３バクトゥンの数え方は、ＢＣ３１１３年からＡＤ２０１２年までの歴史の周期の尺度。

【生物圏】Biosphere:壊れやすい惑星生命の皮膜と、それを支持する地球表面全体に広がる非有機的系。時間戦争・自由意志の実験ゾーン。いまやバビロン惑星の物質主義、その１２：６０文明によって危機にさらされている。併せて【精神圏】Noosphereを参照。

【ボロン･イク】Bolonlk:天王星にある「舵取りの塔」から戦士の迷宮の旅のヴィジョンを織る、パカル･ヴォタンの天の恋人。ボロン･イクは、「白い太陽の風」の意味。

【ボロン･ティク】Bolon Tiku:９の力を召喚する祈り。無意識における時間の力を支配する時間と運命の９人の主たち。

【クロノメトリー、クロノメトリクス】chronometry, chronometrics:三次元の時間の１３：２０の尺度。バイオテレパシー的に時間をはかる科学。テレクトノンのカード配列で、普遍的なデイリー・クノロメーターとして応用されている。

【法則の立方体】Cube of the Law: 【立方体の法則】Law o于the Cubeを参照。

【運命キン】Destiny Kin : ２６０キンの銀河スピンによる毎日の位置の名前。第５の力のお告げの中心のキン。

【第５の力のお告げ】Fifth Force Oracle:運命キンによって保持される定まった関係の組。テレクトノンでは、毎日の時間の交差を追跡し、７つの世代のお告げを読むのに使われる。

【銀河連盟】Galactic Federation:高次の知性体組織。現在、惑星地球に焦点化している三次元の自由意志の実験を監督する責任を持っている。

【銀河の表記法】Galactic Notation:マヤのドット・バー（点・棒）で数える方法、０－１９コード。また、１３の月の周期を支配する四次元の時間、その１３単位のウェイブスペル・コードでもある。

【ハアブ】Haab:２０日周期が１８と、それに５日のワイエブを加えた日数ではかる惑星地球の軌道。

【心のヘプタゴノン】Heptagonon of Mind: 預言の７年、１９９３～２０００年のあいだに回復されるべき、四次元的な立方体の７の力。＜生物圏から精神圏への移行＞に同じ。正しい計時周波数１３：２０のもとで組織化される人類の集合的な心、意志、霊の実現。

【フナブ･ク】Hunab Ku:「運動と尺度をもたらす唯一者」。「神」あるいは「アラー」を指す銀河のマヤの用語。

【イブリス】Iblis:反逆した創造の天使の名前。サタンとしても知られる。あらゆる形態における人間のエゴの妄想の力。

【カトゥン】Katun:７２００キン（日）の数え方、１バクトゥンにつき２０ある。１９太陽年より少し長い期間で、人類の１世代。

【キニチ･アハウ】Kinich Ahau:私たちの太陽とその惑星系、全体存在としての太陽系に対する銀河のマヤの名前。

【クシャン・スウム】Kuxan Suum:「天の次元のそれぞれを通り抜け、星々の根源へと至るハイウェイ」。銀河の中心と太陽神経叢（たいようしんけいそう）をつなぐエーテル的な繊維。「フナブ・クの臍（へそ）」。

【立方体の法則】Law of the Cube: ひとつの聖なる次元間の法則の支配下にあるすべての現われを位置づける、３つの平面－心の平面、霊の平面、意志の平面－の交差。バベルの塔という偽りの１２：６０の権威によって覆われている。知性の戦士の１６日間の迷宮の旅によってあがなわれる。「法則の立方体」Cube of the Lawとしても知られる。

【マヤ】Maya:古典期を１０番目のバクトゥン周期（ＡＤ４３５～８３０年）に持つ、中央アメリカにおける文明に与えられた名前。銀河の時間の航行者。

【月】Moon:２８日間の女性の生理と人類の生物学的な周期、一年間の惑星軌道につき１３ある。１３の月の暦および人類が自然の秩序に回帰するうえでの基礎。

【精神圏】Noosphere:預言の７年のあいだ１３の月の暦に首尾よく従う結果生じる、惑星のまわりを取り巻くテレパシー的な知性の覆い。また、法則の立方体の回帰を確実にする「生物圏から精神圏への移行」、「心のヘプタゴノン」の完了としても言及される。併せて【生物圏】Biosphereを参照。

【オシュラフン・ティク】OXlahun Tiku : １３の力を召喚する祈り、意識的な時間の力。また、１３次元の宇宙を表わす用語でもある。

【パカル・ヴォタン】Pacal Votan:時間の並はずれた証人。「法則の立方体」と「預言を語る石」を明らかにした者。彼の力が及んだ期間は、ＡＤ６３１～６８３年。（訳注:生没年はＡＤ６０３～６８３年とされている。）

【パレンケ】Palenque:聖なる神殿の場。パカル・ヴォタンの地上的な力の中心地。ナー・チャン（蛇の場所）としても知られる。メキシコのチアパス州にある。

【惑星奉仕のウェイブスペル】Planetary Service Wavespell:４つの四次元の時間パルサーによって組織化されている１３の月の周期。

【パルサー】Pulsars:４つの次元機能ー時間、生命、感覚、そして心ーに応じた、１３単位のウェイブスペルを同期させる四次元の時間の幾何学。

【シンクロノメトリー、シンクロノメトリクス】Synchronometry, Cynchronometrics : シンクロニシティ（共時性）の尺度、テレパシーを実践するための四次元の科学で、テレクトノンのプレイングボードのコマの毎日の動きに応用される。

【宇宙間に伝わる数字の力】Telecosmic Number Powers:数字の形での４つの天の力。ボロン・イクが、パカル・ヴォタンの地上歩行のあいだに、意識の場を強化し、彼を助けるために使う９、１３、５、そして４。

【テレクトノン】Telektonon : 地球霊の通話管、コミュニケーションの象徴的な通路、「預言を語る石」。＜１３の月の暦＞が人の悟りの道であり、普遍的なテレパシーの勝利であること、その啓示。「立方体の法則」をマスターした者によって受け取られる祝福の名前。

【テレパシー】Telepathy:三次元的な種を惑星芸術の形態へと統一するための、四次元的な知性の力。

【バベルの塔】Tower of Babel:歴史のはじまり（１番目のバクトゥン、ＢＣ３１１３年）からの偽りの時間の力に与えられた名前。バビロン惑星の基礎。

【ツォルキン】Tzolkin:マヤの聖なる暦、四次元の銀河時間の計器、２６０キンの銀河スピン、ハーモニック・モジュール（調和的な測定基準、または基準単位）。

【ウェイブスペル】Wavespell:２６０日の銀河スピンの中に２０ある１３日周期、および１３の月の暦の周期を支配する１３の銀河の音に与えられた名前。

（訳注・追加）
【アポカリプス】Apocalypse:黙示、啓示。原義は「隠されたもの（が黙示によって明らかにされること）」の意。聖書の「黙示録」などによって、終末論的な意味合いが加わった。

１８のウィナルと５日のワイエブ
その１９の関連日付

１３の月・２８日の暦は、私たちの惑星がその恒星、太陽のまわりを巡る軌道の生物学的に正確な尺度である。それは、月の位相だけでなく、銀河の時間周期をも調整し、同期させる完全な尺度基準である。古代マヤ人は、これらの周期のすべてを知っていた。これらの銀河周期と１３の月の暦を調整する一例として、ハアブがある。

征服された頃のマヤが最も一般的に使っていた時間の計器はハアブたった。ハアブは、太陽年を２０日周期が１８と、それにワイエブとして知られる５日間の周期を加えて配列するものである。　１３の月・２８日の周期とは別の＜時間をはずした日＞、あるいは365番目の日は、ワイエブの最後の日である。

２０日周期は、マヤによって、ウィナルと呼ばれていた。１３の月の周期が、人の生物学的な周期を制御しているのに対して、この２０日周期は、その年の＜年の担い手＞を調整する。この＜年の担い手＞は、「宇宙の形の書」の４枚のカードのそれぞれの表側に現われている、４年のそれぞれの年を支配する４つの太陽の紋章のひとつである。

＜年の担い手＞の紋章は、それが４年のどの年であれ、１８のウィナルとワイエブをコード化する。その紋章の力が、それぞれの年に特別な質を与えるのは、これが理由である。たとえば、＜赤い月の月＞の年では、すべてのウィナルの日付は＜月＞の太陽の紋章でコード化され、＜白い電気の魔法使い＞の年では、すべてのウィナルの日付は＜魔法使い＞の太陽の紋章でコード化される、などである。

ウィナル太陽周波数周期の名称は、もともとマヤに由来するもので、それぞれにつけ加えられた一文は、太陽の知恵の一連の周期を物語る。

「貴重な石」とは、トゥン、すなわち360日周期のことである。５日間のワイエブは、１年の太陽周期を完了させる知恵である。

これら１９のウィナル周期の関連日付は、ドリームスペルの「銀河の羅針盤」のもっとも外側にある緑の輪に表示された数字に対応する。

	１３の月の暦の日付	グレゴリオ暦の日
１．０ ポプ 知者は	０１．０１	０７．２６
２．０ ウオ 沈黙の中で聞き	０１．２１	０８．１５
３．０ シプ 宇宙を統合するために	０２．１３	０９．０４
４．０ ソツ 知識に基づいて行動する	０３．０５	０９．２４
５．０ ツェク （その知識は）基礎に至り、そこで	０３．２５	１０．１４
６．０ シュル 偉大な知恵とともに、種が蒔かれる	０４．１７	１１．０３
７．０ ヤシュキン 隠された太陽の小さな光輝は	０５．０９	１１．２３
（０５．２８＝１４０日、まる５か月）		
８．０ モル 断片のすべてを統一し	０６．０１	１２．１３
９．０ チェン 内なる知恵の泉へと入り込み	０６．２１	０１．０２
１０．０ ヤシュ そこでは学徒が思いを清め、いまだ熟成していないものに心をとどめ	０７．１３	０１．２２
１１．０ サク 疑問の雲を晴らし、みずからを高く持ち上げ	０８．０５	０２．１１
１２．０ ケー 習慣的な注意力を休め、白い光に到達し	０８．２５	０３．０３
１３．０ マク 疑問の部分を閉じて、トランス状態に入り	０９．１７	０３．２３
（１０．０８＝２６０日、１銀河スピン）		
１４．０ カンキン 知者の光を受け取る	１０．０９（＝０１．０１）	０４．１２（＝０７．２６） 太陽銀河年の銀河回帰
（１０．２８＝２８０日、まる１０か月）		
１５．０ モアン 暗闇の中をのぞきこみ	１１．０１	０５．０２
１６．０ パシュ 未来の音楽に触れ	１１．２１	０５．２２
１７．０ カヤブ その歌とリズムは	１２．１３	０６．１１
１８．０ クムフ 聖なる食物が手に入る正しい場所にある	１３．０５	０７．０１
１９．０ ワイエブ	１３．２５	０７．２１
	１３．２８＝３ワイエプ	０７．２４
	４ワイエブ	０７．２５＝時間をはずした日

貴重な石を手に入れるために必要なすべてのもの

テレクトノンを裏付けるボーデの法則

ボーデの法則は次のように述べている：太陽からの距離の関係において、惑星のそれぞれ互いの軌道比は、数字の組の調和的な比の関係で表現しうる。

調和的な軌道比の関係を示す数字の組は、次のようなものである：

冥王星―３８８＝４×９７（９６＋１、９６＝宇宙の形のカ２４×４）

海王星―３００＝１＋２＋３……＋２４＝３００（１から２４までを構成する整数の合計、超意識の宇宙の形のカ２４）

天王星―１９６＝２８×７＝正しい地球の２８日の月、４週間を補う。
＝バベルの塔を構成する４つの惑星の軌道比の合計と同じ。

２８日間のテレクトノンの管で地球と天王星（１９６）をつなぐ天国への階段を昇ることで、バベルの塔（１９６）が克服される。

バベルの塔の４つの惑星

土　星―１００＝１０×１０（１０：地球の軌道比）＝１２：６０の金融システム。

木　星――５２＝隠された太陽銀河比（＝１３×４）５２週間の基礎。

マルデク――２８＝失われた惑星、失われた和音、宇宙の形４×神秘の７、２８日・１３の月の暦によてあがなわれる。

火　星――１６＝失われた惑星、戦士の旅によてあがなわれる立方体のカ。

＜合計＞――１９６

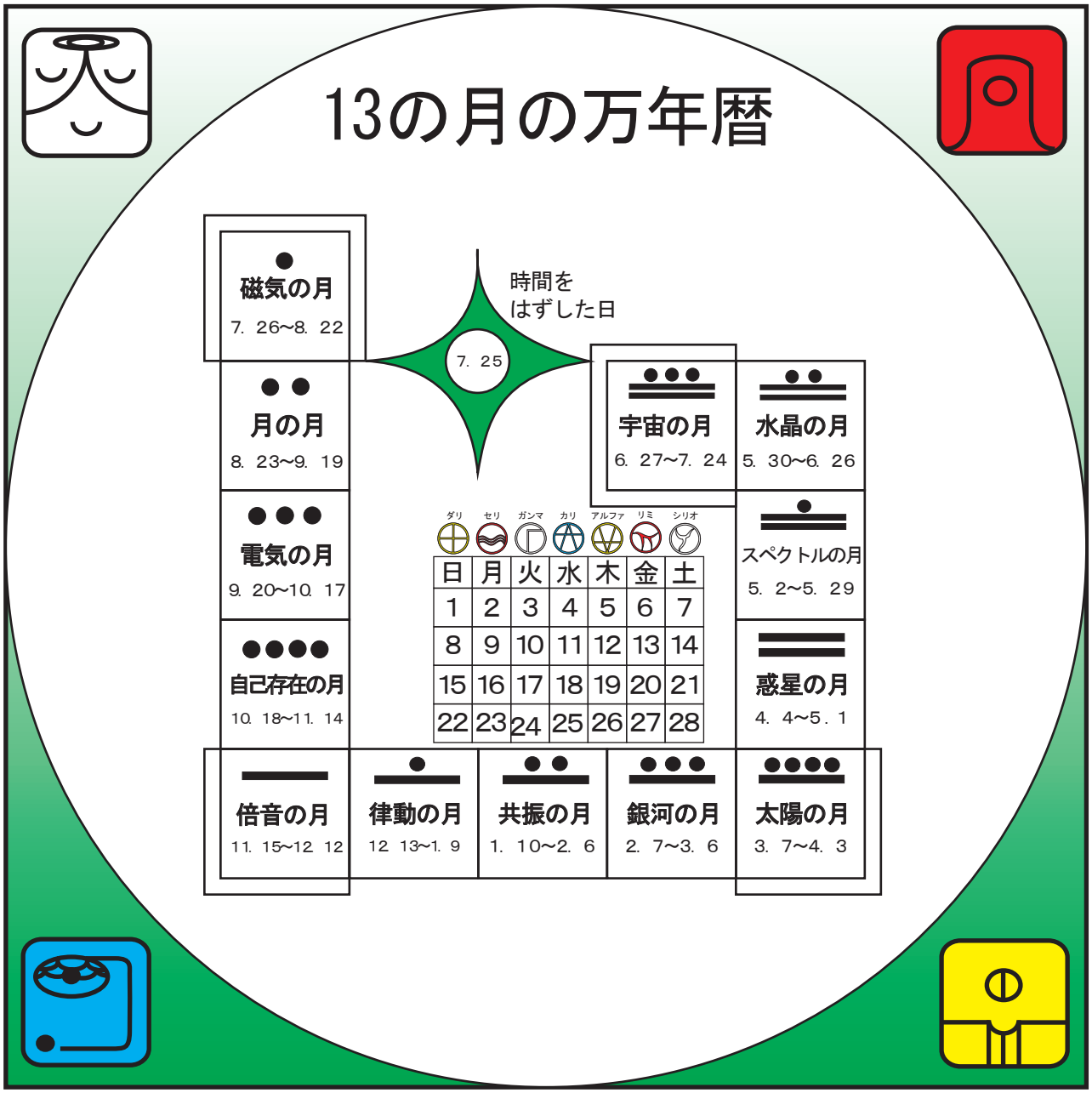
地　球――１０＝１０の惑星軌道のカ、しかし２０の半分に過ぎず、１００で示される土星のＧ７、その金銭のカによって隠されている。

金　星――― ７＝神秘のカ、１週間７日の基礎、１から１３までの中点。

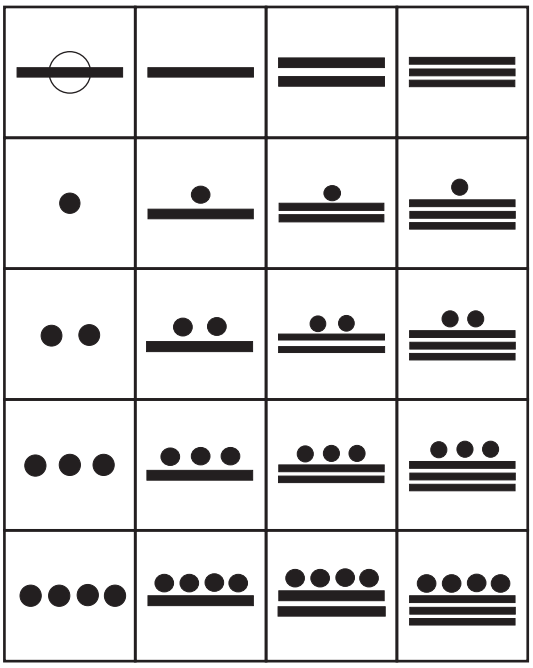
水　星――― ４＝宇宙の形のカ。

１０の惑星軌道のあいだの９つの間隔の数字の合計は、３８４に等しい。３８４＝６４×６、『易経』の６４卦の爻（線）の数であり、ＤＮＡコードの単位の数である。これらの数字の比が、テレクトノンのコードのバイオテレパシーを裏付ける。

13の月の万年暦

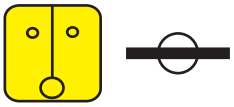
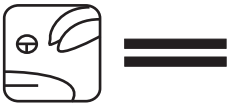
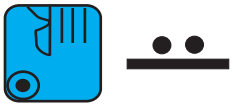
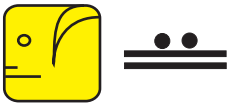
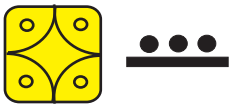
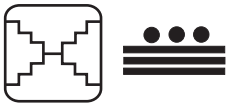
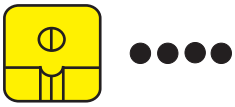

磁気の月
7. 26~8. 22
月の月
8. 23~9. 19
電気の月
9. 20~10. 17
自己存在の月
10. 18~11. 14
倍音の月
11. 15~12 12
律動の月
12 13~1. 9
共振の月
1. 10~2. 6
銀河の月
2. 7~3. 6
太陽の月
3. 7~4. 3
惑星の月
4. 4~5. 1
スペクトルの月
5. 2~5. 29
水晶の月
5. 30~6. 26
宇宙の月
6. 27~7. 24
時間を
はずした日
7. 25
ダリ セリ ガンマ カリ アルファ リミ シリオ
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28

銀河の表記法
ドット・バー（点・棒）０－１９ コード



0 （２０）	5	10	15
1	6	11	16
2	7	12	17
3	8	13	18
4	9	14	19

20の太陽の紋章名前とコード番号

 太陽	 蛇	 犬	 鷲
 竜	 世界の橋渡し	 猿	 戦士
 風	 手	 人	 地球
 夜	 星	 空歩く者	 鏡
 種	 月	 魔法使い	 嵐

謝辞

テレクトノン、預言のゲームは、銀河意識の深みから立ち昇ってくる広大で不可視の山の一角にすぎない。この深い啓示と真実を世界にもたらすべく任命された器として、ロイディーンと私は、これまで私たちが思いもよらなかったほどつつましくなり、変容を遂げた。

普遍的なテレクトノンのごく一部に光を当てる過程で、私たちはこれまで思っていた自らの姿や、私たちがいったいどこからやってきたのかについての考えを改めさせられた。１９８９年の段階ですでに、私たちは完全に１３：２０の時間のコードに従って生きることで、崖っぷちから飛び立ったと思っていた。だが、１９９３年７月２６日、キン１４４、＜黄色い磁気の種＞の日に、私は、それまで自分の現世的な存在と所有物をほとんど捨て去っていなかったことを思い知らされるような、唐突で打ち砕かれるような体験をはじめたのだった。パカル・ヴォタンが呼びかけにやってきた。そして彼の背後では、彼の天の恋人、ボロン・イクが手招きしていた。その瞬間から、私たちの生活は、預言と真実――テレクトノン――を提示するためだけの叙事詩的な規模の冒険旅行へと渦を巻いて入り込んでいった。

ラテン・アメリカをユカタンからパタゴニアまで縦断し、南アフリカからモスクワ、ボンベイから東京へと、惑星をぐるりとまわり、私たちはパカル・ヴォタンの啓発に満ちた伝言を届けるために駆り立てられた。その間ずっと、私たちはこの伝言を、すべての人類に対して最も単純で、最も関心を呼び起こす形でもたらそうと苦慮した。そしてゆっくりと、忍耐づよく、預言のゲームが現在提示されているような形で生まれ出た。

この過程で私たちを支援してくれた人々はあまりにも数多く、名前をすべてあげることはおろか、思い出すことすらできないほどだ。したがって、以下に名前を掲げていない場合にはお許しとご理解をいただきたい。

まず第一に、創造的な場を作り出してくれたデイヴィッド＆アタラ・ポに感謝したい。ティネッタ・ムハンマドと彼女の息子イシュマエルは、霊感をもたらしてくれた。基礎的な知識を提供してくれたアルベルト・ルス・ブエンフィルスと、フエフエコヨトルの氏族のメンバーたち。情熱の炎を燃え立たせる滋養と芸術的・経済的な支援をしてくれたヴェロニカ＆ミト・カブレラ、マルタと彼女の父、エドゥアルド・サンチェス、そしてチリのチーム。忠実かつ確固とした姿勢でデザインを提供してくれたランディ・ブルーナー。デザイン・プロセスを支援してくれたクリス＆リンダ・ハトフィールド。愛らしい支援と「タートル・トッパー・ワンダー・ワゴン」を提供してくれたステファニー・サットンとジョン・ウィドマー。知的で肯定的な見解や対話を提供してくれたモスクワのブロニスラフ・ヴィノグラードと、東京の高橋徹＆いづみ、そしてその他のチーム。気高い勝利の行進の霊感となったサン・パウロのヴァンディール・カサグランデとブラジル人チーム。パカル・ヴオタンの預言の真実がどれほど強力なものであるかを私たちに教えてくれた、コロンビアのメデリンのチーム、そしてヴェネズエラとアルゼンチンのテレクトノンのグループ。

これらの人々は、このプロセスで私たちを導き、霊感をもたらしてくれた人たちのごく一部にすぎない。

香港のテディ・ツァングとインターリンク・プロダクションズのチームも、このゲームを形にしてくれた忍耐づよい信頼関係と技術的な配慮に対してお礼を述べておかねばならない。また、もちろん、カリフォルニア州オークランドのオペレーション・ヴィクトリーのドクター・ロブと、スコットランドのアルテア・パブリッシングのヴィタ・デ・ワールにも、このゲームのすべてを現実のものとしてくれた財務的な支援に感謝したい。

最後に、私たちは、家族にも感謝の気持ちを表明しなければならない。私たちのことを信じ続けてくれた私たちの子供、タラ、ハイディ、そしてポール。この旅を可能にしてくれたジョッシュ。そして死が分かつ境界線のこちら側とむこう側の双方にいる私たちの最愛の両親に。

テレクトノンに、そしてその気高い勝利の行進への熱烈な呼びかけの中に入り込む人たちが、ひとつの地球、ひとつの血、ひとつの海、ひとつの空気、ひとつの心、ひとつの聖なる秩序、ひとつの聖なる存在を理解し、実現してくれることを願っている。

預言の第３年　磁気の月２８日
「勝利は鎮める」
キン１２１、赤い自己存在の竜

香港
グレゴリオ暦：１９９５年8月２２日

「テレクトノン」の訳語について

「テレクトノン」は、「１３の月の暦」（１９９０～）をはじめ、「ドリームスペル」１９９０～）や「時間の法則の２０の銘板」（１９９７～）、また「７：７：：７：７」（１９９８～）と呼ばれる各種の学習ツールと同様に、＜13の銀河の音＞と＜２０の太陽の紋章＞のシステムや基礎知識を元にしてできています。そして、これら＜１３の音＞や＜２０の紋章＞は、どのツールでも、ほぼ共通したキーワードが使われています（テレクトノンでは、一部、独自のキーワードを使用しているものもあります）。

今回「テレクトノン」の翻訳にあたって、これらのキーフードの訳語を、翻訳チームのスタッフが全面的に見直し、協議のうえで新たな訳語を定めました。そのため、１９９８年までに出版された「１３の月の暦」関連の出版物（カレンダー、説明書、書籍等）におけるキーワードの訳語と、一部異なるものがあります。

特に、以下のキーワードに関して変更が生じましたので、ここに明記します。

変更した主要なキーワード

	修正前	修正後
[Mind]	**心**	**（変更なし）**
[Spirit]	**精神**	**霊**（Xただし、文脈によっては「精神」のまま）
[Heart]	**ハート**	**（変更なし）**
[Galactjc tones]	**銀河の音程**	**銀河の音**
[Polarize]	**極性化する**	**分極化する**（※ただし、Polar Kinは「極性キン」のまま）
[Channel]	**チャネルする**	**通す**
[Measure]	**計測する**	**測定する**
[Command]	**指揮する**	**命じる**（xただし、take commandは「指揮する」のまま）
[Realize]	**悟る**	**実感する**
[Universalwater]	**宇宙の水**	**普遍的な水**
[vision]	**見通し**	**ヴィジョン**
[Universal fire]	**宇宙の火**	**普遍的な火**
[Catalyzes]	**触媒する**	**触発する**
[Enlightens]	**照らす（啓示する）**	**照らす（啓発する）**
[Loyality]	**忠誠**	**忠実**
[Wakefulness]	**目覚め**	**用心深さ**

「四次元の時間の学習ツール＆ゲーム」のひとつである「テレクトノン」は、前述した他のツールとの関連も深く、システム的な側面が重要視されています。従ってこの「テレクトノン」日本語版においては、以上の牛ーワード以外の部分においても、他のツールにもそのまま使用できる「共通の訳語」を意識し、同じ英語の単語の場合は、日本語でもできるだけひとつの訳語に統一しました。また、文章表現においては、私たち自身の解釈を極力省き、原文に忠実になるように心がけました。

以上のような形で翻訳チームは、長い討議の時間をかけ、精いっぱい翻訳にたずさわってきましたが、現時点では、まだまだ未熟な訳語もあるかもしれません。英語と日本語という文化圏の異なる二つの言語において、一対一の関係で訳語を確定すると、当然のことながら通常の文章の中では不自然さを感じたり、違和感が生じるところも出てきてしまいます。このような背景をご理解いただき、言葉（言語）の背後にある源泉の「四次元の時間のシステム」を感じながらお読みいただければ幸いです。

これまで、さまざまな形で日本語翻訳に関する指摘やアドバイスをしてくださった皆様に感謝いたします。

赤い律動の月の年　太陽の月２８日
１０・太陽（キン１４０）
ＰＡＮ日本語翻訳チーム

「テレクトノン」日本語版制作にあたって

テレクトノン・キットを提示したホゼ＆ロイディーン・アグエイアス夫妻は、テレクトノン・キットに先行して開発されたドリームスペル・キットの中で、次のように語っています。

”ドリームスペルは贈り物です。それは隠され知らされていなかった時間に関する知識です。このような真実の知識は決して利益を目的として売買されてはなりません。すべての人々のための共通言語として分かち合うべきものなのです。贈り物としてのドリームスペルには、慈善を増やすこと、無条件に与えること、そして普遍的な愛の知恵を広げることという意味を持っています。したがって、ドリームスペルの制作と配布に関するすべてのことは、銀河文化の基準にそった形でこそ決められるべきものなのです。”

この主旨に基づき、日本では１９９７年１月（青い自己存在の嵐の年・共振の月）より、「銀河の贈り物基金」として日本語版キット制作資金のためのカンパの窓口がスタートしました。また、時間を学ぶツールは「１３の月の暦」「テレクトノン」「ドリームスペル」と段階を踏んでいるため、ドリームスペル・キットよりも完成した時期は遅いものの、まずテレクトノン・キットの制作を最優先として進めることになりました。

テレクトノン日本語版は、「銀河の贈り物基金」に寄せられるカンパ、壁かけ型「１３の月の暦」（ＰＣＣ東京：発行）の収益、説明会や勉強会などの催しの場においてのカンパなど、数え切れないほど多くの方々の金銭的援助とそこに込められたお気持ちによって、形にすることができました。また、翻訳やデザイン、編集などの実際の日本語版制作作業は、一部のフィニッシュワークを除き、すべて有志の無償行為によって進められました。

「テレクトノンの日本語版を創ろう！」という呼びかけから約２年半、長期にわたる制作作業にはさまざまな困難な状況がありましたが、北は北海道から南は沖縄までの日本各地の方々から寄せられる“銀河の贈り物”に、どれだけ励まされ、歩み続する意欲をいただいたかしれません。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

そして、ここにキットが完成した喜びを皆様と分かち合えることを、本当に嬉しく思います。

テレクトノンは、過去の時間をあがない、未来の時間を創り出すためにあります。銀河の贈り物として形になった「テレクトノン・キット」は、値段をつけて売買される商品ではありません。その配布とともに、今後のドリームスペル日本語版の制作もまたカンパによって進められる予定です。キットを手にした方の思いが未来につながり、一人でも多くの方の手にキットが届くことを願ってやみません。

赤い律動の月の年　スペクトルの月１日
１３・月（キン１６９）
制作スタッフ代表　高橋いづみ

テレクトノン日本語版･制作スタッフ：
池田昌美／小原大典／倉元孝三／
高橋徹＆いづみ／滝元隆伸／光末堅聿
Japanese Copyright © 1999 by PAN JAPAN
印刷：インターリンク・プロダクションズ（香港）

Staffs for the Production of Japanese Version of TELEKTONON:
Masami Ikeda / Daisuke Obara / Kozo Kuramoto /
Toru & Izumi Takahashi / Takanobu Takimoto / Kenichi Mitsusue

Printed by Interlink Productions Ltd. in Hong Kong

Special Thanks To:
赤塚聡子／石原敬史／磯田千代子／一本美保子／伊禮暁子／岩隈愛子／魚住昭子／大野　章／岡田あゆみ／甲斐さやか／片倉洋子／桂川雅子／加藤まゆみ／川井健司／河原　博／北島　忠／義野理恵／工藤肇子／倉元和季子／上坂幸生／河本雅子／古寺　洋／坂口冨雄／四條由季子／清水篤＆香織／杉村光彦／平良ベティ･ニクソン／高桑圭子／高野和美／高橋紀子／瀧川千津子＆朋弥／竹内悦子／田中久子／塚野慈郎／苫米地李紗／仲山　浩／西沢博幸／野内洋子／野中　元&桂子／箱田善之／濱野晃子／林　紗千子／林田和子／平岡耕一／古川さきこ／本間裕子／間賀田敏治＆展枝／松村佳代／間宮真理子／丸山敏秋／溝口巌人／美馬則子／森川修司／森高博恵／山本　晶／山本律子／吉本影二／横路隆寛／龍尾幸広……（敬称略）

『海賊版』テレクトノン

皆様こんにちは、チョコボです。現在配布が終了しているテレクトノンですが、海賊版を製作してみました。正規版のボードが大きいので、Ａ４サイズでおこしてみたのがきっかけですが、結局全部作ってしまいました。今までボードが大きすぎて困っていた人や、手に入らなかった人もお楽しみいただけると思います。あっ、今持っている人も内容に誤りが無いかのチェックを暇なときによろしく(^_^;)。現在まだ日本語化されていないツールも有りますので、活動に賛同いただける方は下記の寄付にご協力ください。

寄附口座情報：

口座名称：銀河の贈り物基金
郵便振替：００１８０ー７ー３５０１６０

白い月の魔法使いの年・水晶の月・１３日　白い惑星の魔法使い
白い水晶の犬　こと　チョコボ　発行

誤字脱字や間違い等が有りましたら、telektonon@cyokobo.infoまで
お知らせ下さい。

2008.06.11：Ver.1.00公開